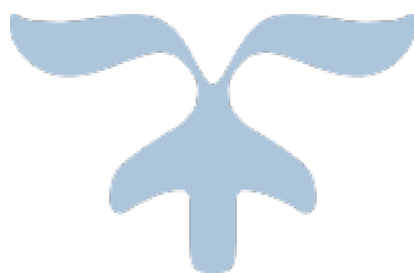


令和5年度**前期** 高大連携授業
シラバス(科目概要)



大学コンソーシアムあきた

目 次

〔1〕 英語の楽しさ再発見	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	1
〔2〕 たのしく学ぼう！算数・数学	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	2
〔3〕 地域資源と地域活性化	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	3
〔4〕 中世のイギリスとフランス	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	4
〔5〕 国際系人文科学入門	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	5
〔6〕 「私」のストーリー	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	6
〔7〕 身近な有機化学・有機化合物	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	7
〔8〕 最新の遺伝子組換え技術への道	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	8
〔9〕 基礎から創薬までを学ぶ生命科学	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	9
〔10〕 高校生のための材料工学への誘い	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	10
〔11〕 高校生のための応用化学	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	11
〔12〕 デジタル社会における人間情報学	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	12
〔13〕 数学の謎と魅力	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	13
〔14〕 文理融合の色彩工学入門	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	14
〔15〕 高校物理でわかる高機能デバイス	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	15
〔16〕 マーケティングとブランディング	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	16
〔17〕 ネットワーク技術とセキュリティ	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	17
〔18〕 高校生のための SOS の出し方・受け方講座	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	18
〔19〕 「あきたの街づくり」マーケティング	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	19
〔20〕 3D モデリングを学ぼう	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	20

〔21〕 C 言語プログラミング	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	21
〔22〕 イギリス演劇研究入門	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	22
〔23〕 コンピュータ、役に立ちます	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	23
〔24〕 ドローンを作って飛ばそう	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	24
〔25〕 プログラミング言語 Python 入門	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	25
〔26〕 ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	26
〔27〕 リスクで分かる判断と違いの心理	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	27
〔28〕 高校数学から大学への数学へ	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	28
〔29〕 予備校の物理	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	29
〔30〕 バイオテクノロジーへの招待	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	30
〔31〕 植物アグリサイエンスのいま！	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	31
〔32〕 おもしろ生物学 ここだけのはなし	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	32
〔33〕 生物環境科学への招待	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	33
〔34〕 高校生のためのアグリビジネス入門	(秋田県立大学)	・ ・ ・ ・ ・	34
〔35〕 国際教養学への招待	(国際教養大学)	・ ・ ・ ・ ・	35
〔36〕 日商簿記 3 級に合格しよう	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	36
〔37〕 INTERNATIONAL COMMUNICATION	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	37
〔38〕 なぜ学校は必要なのか？	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	38
〔39〕 縮小する秋田経済	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	39
〔40〕 ドイツ語へのいざない	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	40

〔41〕 世界史と法学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	41
〔42〕 弁論で権利を守る法律学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	42
〔43〕 国際人道法から紛争解決の道を考える	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	43
〔44〕 刑法について考える	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	44
〔45〕 言語と世界観	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	45
〔46〕 エアラインサービス論	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	46
〔47〕 ユニバーサルツーリズムと SDGs	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	47
〔48〕 小説を書く	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	48
〔49〕 明日の私はもっといい	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	49
〔50〕 看護・介護のコミュニケーション学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	50
〔51〕 『鬼滅の刃』と聖地巡礼	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	51
〔52〕 絶景のアニメ聖地を旅する観光学	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	52
〔53〕 秋田とドイツの「まちづくり」国際比較	(ノースアジア大学)	・ ・ ・ ・ ・	53
〔54〕 ようこそ、看護学の世界へ	(秋田看護福祉大学)	・ ・ ・ ・ ・	54
〔55〕 医療と福祉の探究	(秋田看護福祉大学)	・ ・ ・ ・ ・	55
〔56〕 高校生のための看護学入門	(日本赤十字秋田看護大学)	・ ・ ・ ・ ・	56
〔57〕 地域文化と秋田の工芸	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	57
〔58〕 デザインとコミュニケーション	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	58
〔59〕 地域資源デザインワークショップ	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	59
〔60〕 歴史的な建築デザインを学ぶ	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	60

〔61〕 絵で話す、絵を見る、絵に聞く	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	61
〔62〕 ダイナミックドローイング	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	62
〔63〕 楽しいCGプログラミング	(秋田公立美術大学)	・ ・ ・ ・ ・	63
〔64〕 食生活と健康	(秋田栄養短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	64
〔65〕 ようこそ保育の道へ	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	65
〔66〕 食品と栄養の基礎知識	(聖霊女子短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	66
〔67〕 高校生のための福祉講座	(日本赤十字秋田短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	67
〔68〕 楽しく学べる保育科入門	(聖園学園短期大学)	・ ・ ・ ・ ・	68
〔69〕 Pythonプログラミング	(秋田職業能力開発短期大学校)	・ ・ ・ ・ ・	69
〔70〕 量子コンピュータ超入門	(秋田職業能力開発短期大学校)	・ ・ ・ ・ ・	70
〔71〕 デジタル設計と3Dプリンタを用いた造形	(秋田職業能力開発短期大学校)	・ ・ ・ ・ ・	71
〔72〕 建物探訪	(秋田職業能力開発短期大学校)	・ ・ ・ ・ ・	72
〔73〕 高校生のための量子の世界・量子情報科学の進展	(秋田大学)	・ ・ ・ ・ ・	73

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[1] 英語の楽しさ再発見 (英語を様々な角度から研究する)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 准教授 若有 保彦 (計5名)
授業概要	大学の英語学習では、英語力を伸ばすだけでなく、英語を様々な角度から研究します。本講座では、英語という言語の仕組みや英語の文化的背景、英語学習の効果的な方法を秋田大学の英語担当教員と一緒に考えていきます。		
授業方針	担当者の話を聞くだけでなく、視聴覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともあります。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でもかまいません。英語が苦手という人にとっても、新しい視点から英語を見直す機会になると期待します。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室 ※第1講 (6/7 (水)) のみ遠隔授業		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局 (秋田大学 総合学務課内) (平日9:00~17:00) 電話: 018-889-2843 E-mail: conso@jim.u.akita-u.ac.jp		
遠隔授業時の 連絡先	(当日緊急時のみ) ※第1講 (6/7) についての連絡先: shimazak@ed.akita-u.ac.jp (佐々木先生)		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 24名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「第二言語習得—英語学習へのヒント」 教授 佐々木 雅子 ※遠隔授業 ＜6月7日 (水) 17:30~19:00＞ 母語でない外国語習得 (第二言語習得) はどのようにして起こるのか、どのようにしたら習得や学習がよりよく進むのか。現在までにわかっていることを紹介します。英語学習のヒントにしてください。			
第2講: 「英語研究と英語学習」 教授 星 宏人 ＜6月14日 (水) 17:30~19:00＞ 受講生の英語学習のために、英語学、言語学、言語哲学の研究成果を紹介する。			
第3講: 「英語発達史」 准教授 エイドリアン・パターソン ＜6月21日 (水) 17:30~19:00＞ This class is about where English came from, how it spread to so many parts of the world, and how it changed along the way. By studying the history of English, you can get a better cultural understanding of English speaking peoples, and why there are so many different kinds of English now.			
第4講: 「知っておきたいアメリカ文学・文化入門」 講師 畠山 研 ＜6月28日 (水) 17:30~19:00＞ 英語がもっと楽しくなるアメリカ文学とアメリカ文化についてさまざまな内容を紹介します。			
第5講: 「英語学習の目的と効果的な英語学習法」 准教授 若有 保彦 ＜7月5日 (水) 17:30~19:00＞ 英語学習の目的及び効果的な英語学習法について、他校の生徒との話し合いも交えながら一緒に考えていきます。			
その他	第1講について: インターネット環境 (PC、スマートフォンなどの端末、ネット回線) が必要です。		
テキスト	プリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[2] たのしく学ぼう！算数・数学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 学校教育課程 講師 加藤 慎一 (計1名)
授業概要	算数・数学が好きなみなさん、「算数・数学って苦手だな」「算数・数学って将来役に立つの？」と感じているみなさん。身近にある算数・数学を探る活動を通して、算数・数学を学ぶたのしさを実感し理解を深めましょう。		
授業方針	高校生のみなさんが主体的に考えることを大切にします。スライドや黒板を使い、体験的な活動を取り入れながら授業を進めていきます。必要に応じて、資料を配付します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jimmu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「たのしく学ぼう！算数・数学①小学校算数編」			
＜7月11日（火）17:30～19:00＞			
日常生活などみなさんの身近に潜んでいる小学校算数の内容について体験的に学ぶことを通して、小学校で学んだ算数を振り返り、小学校算数を学ぶたのしさや小学校算数のしくみを追究します。			
第2講：「たのしく学ぼう！算数・数学②中学校数学編」			
＜7月18日（火）17:30～19:00＞			
日常生活などみなさんの身近に潜んでいる中学校数学の内容について体験的に学ぶことを通して、中学校で学んだ数学を振り返り、中学校数学を学ぶたのしさや中学校数学のしくみを追究します。			
第3講：「たのしく学ぼう！算数・数学③高等学校数学編」			
＜7月25日（火）17:30～19:00＞			
日常生活などみなさんの身近に潜んでいる高等学校数学の内容について体験的に学ぶことを通して、高等学校で学んだ数学を振り返り、高等学校数学を学ぶたのしさや高等学校数学のしくみを追究します。			
その他	特になし		
テキスト	講義内容をまとめたプリントを毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[3] 地域資源と地域活性化	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 教授 臼木 智昭 (計1名)
授業概要	観光、文化、歴史、自然、特産品等の「地域資源」を活用した地域活性化の可能性について解説します。具体的な事例を交えながらお話しします。		
授業方針	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。地域活性化に関心がある生徒であれば、文系・理系を問わず受講を歓迎します。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jimmu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：100名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「地域資源と地域イメージ」 <6月24日（土）11:10～12:40> 地域イメージやマーケティング手法の活用による地域活性化について解説します。</p> <p>第2講：「地域資源と地域ブランド」 <6月24日（土）13:20～14:50> 地域ブランドや地域の個性を活かした地域活性化について解説します。</p> <p>第3講：「地域資源と地域ネットワーク」 <6月24日（土）15:00～16:30> ネットワークの活用や地域一体となった取り組みによる地域活性化について解説します。</p>			
その他	特にありません。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	公共、現代社会、政治・経済		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[4] 中世のイギリスとフランス (－世界史再読－)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 佐藤 猛 (計1名)
授業概要	高校世界史の学習の中で、「中世ヨーロッパ」はイスラームの発展・拡大と中国の宋・元時代に挟まれるとともに、様々な民族や国が登場することで、難解な単元の一つです。その中のイギリスとフランスの形成を扱います。		
授業方針	教科書の記述をより深く学ぶことを目指します。そのために、中世の時代に書かれ、残された史料の記述を皆さんと一緒に読みながら進めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim-u.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「ガリアとブリタニアへの民族移動」			
＜6月22日（木）17:30～19:00＞ 古代ローマの時代、現在のフランスは「ガリア」、イギリスは「ブリタニア」と呼ばれました。ローマ帝国の末期、それらにどのような人々が移住し、キリスト教を受け入れ、中世ヨーロッパ世界が成立したかを考えます。			
第2講：「北フランス出身のイングランド王家」			
＜6月29日（木）17:30～19:00＞ 現在、私たちが知っているイギリス国王の祖先をたどると、実は北フランスの貴族家門にたどりつきます。彼らがどのようにイングランド王位を継承し、そのことはフランスの王や王国にどのような影響を与えたかを考えます。			
第3講：「英仏海峡をまたぐ大領土」			
＜7月6日（木）17:30～19:00＞ 1154年にイングランド王位を継承したのは、北西フランスに拠点をおくアンジュー家であり、その領土はグレートブリテン島からピレネー山脈に至りました。その領土の集積と崩壊の過程を丁寧に追って、その意義を考えます。			
第4講：「百年戦争の起源」			
＜7月20日（木）17:30～19:00＞ フランスの南西部に位置するボルドー周辺は、中世の後半以降、イングランド王家の領地でした。そのことが、1337年に「百年戦争」が始まる遠因となります。戦争勃発までに英仏間で何が起きたのかを考えましょう。			
その他			
テキスト			
参考文献	佐藤猛『百年戦争－中世ヨーロッパ最後の戦い－』中央公論新社（2020年3月、ISBN：9784121025821）		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[5] 国際系人文科学入門 (フランスを中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 辻野 稔哉 (計1名)
授業概要	本授業では、簡単なフランス語会話に触れることから始め、フランスを主な例として、人文科学の学びについて解説します。大学の授業の雰囲気味わいながら、小説や映画、絵画といった広い人文科学の世界に最初の一步を踏み出しましょう。		
授業方針	毎回、プリントや資料を配付して授業を進めていきます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim.u.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「フランス語に触れよう！」 <7月12日（水）17:30～19:00> 難しいことは後回し。とにかくフランス語を聞いて、まねて、喋ってみよう！英語と似ているようで、英語とはやっぱり違うフランス語に触れてみよう。</p> <p>第2講：「人文科学は面白い！」 <7月19日（水）17:30～19:00> 大学ではどんなことが学べるのか、実際に聴講してみましよう。この講義では、小説や映画等を題材に、国際文化系人文科学の学びを解説します。</p> <p>第3講：「様々なフランスの文化について」 <7月26日（水）17:30～19:00> 知っているようで、よく知らない国フランス。 おしゃれなだけじゃないフランス文化のことをもっと知ろう。</p>			
その他			
テキスト	毎回、プリント等を配付します。		
参考文献	授業の中で随時紹介します。		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[6] 「私」のストーリー	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 パシユカ・ロマン (計1名)
授業概要	人はみんな、必ずストーリーがあります。この授業では、自分自身のストーリーを考える・描く・共有することによって、私とは何か、他者とは何か、そして社会の中で生きることはどういうことか等について一緒に考えます。		
授業方針	教員からの一方的な講義ではなく、個人ワークやグループワークをたくさん取り入れた、ワークショップに近い授業です。スライド等は用いませんが、毎回必ず筆記用具を持参してください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim-u.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「「私」って、だれ？」 ＜7月26日（水）17:30～19:00＞ 自分の人生マップを考える・描いてみる・シェアする活動を通して、哲学の観点から「自己」について考えます。			
第2講：「「あなた」って、だれ？」 ＜8月2日（水）17:30～19:00＞ レター・ライティングという活動を通して、ライフストーリー研究の観点から「他者」について考えます。			
第3講：「「私たち」って、だれ？」 ＜8月9日（水）17:30～19:00＞ 第1回・第2回の議論を踏まえて、社会のあり方について考えます。最後に、「私」のストーリーをまとめます。			
その他	筆記用具をご持参ください。		
テキスト	なし		
参考文献	適宜、授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[7] 身近な有機化学・有機化合物	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 生命科学科 教授 藤原 憲秀 (計1名)
授業概要	有機化合物は、天然物や人工物など由来を問わず、私達の生活に密着しています。この授業では、身近な有機化合物を題材として、有機化学と関連する生物現象や物理現象を分かりやすく解説します。		
授業方針	プロジェクターを用いた解説の他、有機化合物の分子模型の組み立てや、簡単な演示実験を予定しています。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）2階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim.u.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「有機化合物のかたち」 <6月11日（日）10:30～12:00> 身近な有機化合物の「分子のかたち」に関わる話題を説明します。</p> <p>第2講：「スパイスの色と香りと刺激の有機化合物」 <6月11日（日）12:50～14:30> スパイスやハーブに含まれる有機化合物を紹介します。簡単な演示実験もあります。</p> <p>第3講：「色調の変化する人工色素の有機化学」 <6月11日（日）14:30～16:00> 機能を持った人工色素について紹介します。簡単な演示実験もあります。</p> <p>第4講：「健康と天然有機化合物」 <6月18日（日）12:50～14:20> ヒトの健康に関わる天然由来の有機化合物の話題を紹介します。</p> <p>第5講：「自然毒の有機化学」 <6月18日（日）14:30～16:00> ヒトの健康に関わることの続きですが、食中毒に関わる毒素の話題を紹介します。</p>			
その他			
テキスト	講義の各回資料を配付します。		
参考文献	配付資料に掲載します。		
関連科目	化学基礎・化学、家庭（食品）		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[8] 最新の遺伝子組換え技術への道	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 生命科学科 助教 本田 晴香 (計1名)
授業概要	近年、遺伝子組換え技術が著しい発展を遂げています。この分野は日進月歩で、高校生物の内容と大きな隔たりがあります。この溝を埋められるよう平易な内容から、最先端の分子生物学の基礎まで解説します。		
授業方針	パワーポイントとプリントを併用して説明をします。順を追って授業の内容が進みますので、最初の授業から連続して出席することをお勧めします。生物基礎や化学基礎を履修済みでなくても理解できるよう解説します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）1階多目的講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
遠隔授業の 緊急連絡先	（当日緊急時のみ）科目担当者E-mail: h-honda@gipc.akita-u.ac.jp（本田先生）		
授 業 計 画			
【募集定員人数：24名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「遺伝子とは」 ＜6月17日（土）9:30～11:00＞ DNA、RNAの種類と役割を説明します。また、DNAにコードされている遺伝子の構造と働きについても詳しく解説します。			
第2講：「遺伝子組換えの理論と実際1」 ＜6月24日（土）9:30～11:00＞ 遺伝子組換えの歴史について触れつつ、プラスミドの基本構造、性質や利用法について説明します。			
第3講：「遺伝子組換えの理論と実際2」 ＜7月1日（土）9:30～11:00＞ 動物細胞への外来遺伝子の導入や遺伝子破壊の方法について解説します。			
第4講：「遺伝子組換え技術の産業・医療への応用」 ＜7月8日（土）9:30～11:00＞ 最新の遺伝子編集技術を含め、遺伝子組換え技術の産業への応用についての概要を説明します。また、対面で参加していただいた希望者に対し、研究室見学を予定しています。			
その他	筆記用具のみでOKです。		
テキスト	講義内容をまとめた資料（A4サイズ資料）を毎回配付します。		
参考文献	配付資料に示すとともに、授業の中で紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[9] 基礎から創薬までを学ぶ生命科学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 生命科学科 教授 尾高 雅文 (計1名)
授業概要	生命活動で中心的な役割を果たすタンパク質の様々な働きを学ぶことで、生命とはどんなものかをイメージできることを目指します。また、バイオテクノロジーや創薬などの利用技術についてもわかりやすく解説します。		
授業方針	パワーポイントとプリントを併用した説明をしていきます。順を追って授業の内容が進んでいきますので、最初の授業から連続して出席した方が理解しやすいと思います。「生物基礎」や「化学基礎」を履修済みでなくても理解できるよう解説します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）1階多目的講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim-u.akita-u.ac.jp		
遠隔授業の 緊急連絡先	（当日緊急時のみ）科目担当者E-mail: modaka@gipc.akita-u.ac.jp（尾高先生）		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：54名】※受講形式選択制：対面24名、遠隔（オンライン）30名 先着順で募集を締め切ります（受講形式の希望は申込時に選択していただきます）。</p> <p>第1講：「タンパク質とは何か」 ＜6月24日（土）11:10～12:40＞ タンパク質とはどんなものなのか。基礎から始めて、細胞内ではたらくタンパク質について具体的な例を挙げて説明します。高校で生物を学んでいない学生にも理解できるように、基礎から丁寧に講義をします。</p> <p>第2講：「タンパク質のかたちとはたらき」 ＜7月1日（土）11:10～12:40＞ タンパク質はそれぞれ決まった“かたち”と“はたらき”をもっています。いくつかの特徴あるタンパク質を例に挙げ、“かたち”と“はたらき”に基づいたタンパク質研究例を説明します。</p> <p>第3講：「タンパク質の利用技術」 ＜7月8日（土）11:10～12:40＞ タンパク質は工業・農業などの産業など様々なところで利用されています。身近な例をあげながら、専門知識がなくてもわかるように、概要を解説します。</p> <p>第4講：「病気と薬の科学」 ＜7月15日（土）11:10～12:40＞ 「薬はどのように効くのか」など、案外知られていない薬の科学を紹介するとともに、本講座のまとめとして、創薬について紹介したいと思います。</p>			
その他	対面形式の場合：筆記用具のみでOKです。 遠隔形式の場合：インターネット環境（PC、スマートフォンなどの端末、ネット回線）が必要です。		
テキスト	講義内容をまとめた資料（A4サイズ資料）を毎回配付します。		
参考文献	配付資料に示すとともに、授業の中で紹介します。		
関連科目	生物基礎、生物、化学基礎		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[10] 高校生のための材料工学への誘い	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 物質科学科 教授 齋藤 嘉一 (計4名)
授業概要	社会の役に立つ革新材料を生み出すことや、それらを活用するための技術を開発・研究するための学問分野である材料工学について理解を深めるとともに、当該分野とサステナブル社会の関わりについて教養を広める。		
授業方針	初学者に配慮した講義内容に加え、簡単な実験を通じて材料の不思議や面白さを体感してもらいながら授業を進める。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部3号館318・319講義室 (集合場所：319講義室)		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局 (秋田大学 総合学務課内) (平日9:00~17:00) 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「高機能電子材料は世の中を便利にする！」 教授 吉村 哲 <6月17日 (土) 13:00~14:30> 理科で習う法則の電子デバイスへの応用について簡単な実験を行いながら概説するとともに、電子デバイスの高性能化と電子材料の高機能化の関係における歴史と将来展望について述べる。			
第2講：「環境にやさしいセラミック材料について学ぼう！」 教授 林 滋生 <6月17日 (土) 14:40~16:10> 材料のもつ様々な機能は、サステナブル社会実現のために重要な役割を担う。本講義ではその一例として、環境問題と深い関わりをもつセラミック材料について、そのはたらきや仕組みについて説明する。			
第3講：「材料の強さを調べよう！」 教授 大口 健一 <6月24日 (土) 13:00~14:30> 材料を安全に使用するには、予め「材料の強さ」を把握していなければならない。本講義では、その調べ方と、そこで得られる情報に基づく、機械・構造物の設計の基礎について説明する。			
第4講：「身近な金属材料の性質を知ろう！学ぼう！」 教授 齋藤 嘉一 <6月24日 (土) 14:40~16:10> 金属の歴史と利用について概説するとともに、身近な金属材料を使った簡単な実験を行い、金属の性質に対する理解を深める。			
その他			
テキスト	講義の中で紹介します。		
参考文献			
関連科目	化学、物理		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (学名)	[11] 高校生のための応用化学 (化学と社会の接点を知ろう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 物質科学科 教授 村上 賢治 (計5名)
授業概要	応用化学は、化学の知識や研究成果を新しい物質や技術の開発に利用する学問であり、人間社会を豊かにする重要な役割を担っています。応用化学が社会のどのような場面で活躍しているのかを、先端的な研究例も取り上げて楽しく学びます。		
授業方針	スライドを用いた講義形式で行います。受講者の理解を確認しながら、応用化学の魅力を易しく楽しく解説したいと思います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部4号館229講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局 (秋田大学 総合学務課内) (平日9:00~17:00) 電話: 018-889-2843 E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 40名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「クリーンエネルギー」 教授 村上 賢治 <u><7月15日 (土) 13:20~14:50></u> 2050年にカーボンニュートラルを実現するためには、燃料の有するエネルギーを化学の力で上手く取り出す必要があることを解説します。</p> <p>第2講: 「身の回りで活躍する有機材料」 教授 寺境 光俊 <u><7月15日 (土) 15:00~16:30></u> 我々の日常生活では様々な有機材料が使われています。これら有機材料の特徴や機能について、分子レベルから解説します。</p> <p>第3講: 「化学の眼で見る液体燃料と環境側面~二酸化炭素とSDGs~」 准教授 小笠原 正剛 <u><7月16日 (日) 9:30~11:00></u> 秋田で産出される「石油」を起点として、液体燃料について概説します。また、炭素循環と二酸化炭素、SDGsとの関連を紹介します。</p> <p>第4講: 「ピーカーや試験管の中の化学反応はどのようにして実用化されるのか?」 准教授 高橋 博 <u><7月16日 (日) 11:10~12:40></u> 化学反応を利用して物質を生産する場合、どのようにして実用化されていくのでしょうか。高校の教科書には記載が少ない、化学の裾野の広さを知る良い機会となるでしょう。</p> <p>第5講: 「環境浄化に役立つ無機材料」 教授 加藤 純雄 <u><7月16日 (日) 13:20~14:50></u> 社会を豊かにする技術の発展とともに問題となる、大気や水の汚染を防止し、浄化に役立つ無機物質、技術を化学の視点から解説します。</p>			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	化学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブID)	[12] デジタル社会における人間情報学 (人と人とのつながりを強くする最新情報技術)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 景山 陽一 (計4名)
授業概要	人間を中心とするデジタル社会を創るためには、ヒトに対する深い理解が必要です。ヒトに優しいAIやXRなどの最新技術について紹介すると共に、暮らしをより良くするためのアイデアと手段を一緒に考えたいと思います。		
授業方針	スライドと配付プリントにより講義します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 理工学部5号館101講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：40名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「人に寄り添うデジタル社会の画像処理・機械学習」 秋田大学大学院 理工学研究科 教授 景山 陽一 ＜6月25日（日）9:30～11:00＞ 時間や距離を意識することのない、多様な幸せの実現をデジタル社会は目指しています。本講座では、情報の共有に加え、私たちの気持ちを理解するための画像処理技術や機械学習を用いた取り組みについて紹介します。</p> <p>第2講：「地域観光モバイルITサービスの基本原理・意義・未来イメージ」 秋田大学大学院 理工学研究科 教授 有川 正俊 ＜6月25日（日）11:10～12:40＞ 秋田大学で独自開発したスマートフォン用のまちあるきアプリの基本原理、意義、将来展望を紹介します。特に、GPS、地図、デジタルガイド、地域観光振興、思い出工学、データ駆動エコシステム、シビックプライドの観点から、地域観光モバイルITサービスの在り方をみなさんと一緒に考えます。</p> <p>第3講：「目は口ほどにものを言うーアイトラッキングの原理と応用ー」 秋田大学大学院 理工学研究科 教授 石沢 千佳子 ＜6月25日（日）13:20～14:50＞ 「人が何処を見ているのか」を調べる技術を「アイトラッキング」と言います。アイトラッキングはこれまで、心理学の実験や視線によるコンピュータ操作など、ある特定の目的で決まった使い方をすることがほとんどでした。本講座では、アイトラッキングの原理を紹介し、私たちの暮らしをより便利にするための活用方法について、みなさんと一緒に考えます。</p> <p>第4講：「メタバースが拓くデジタル秋田」 秋田大学大学院 理工学研究科 教授 水戸部 一孝 ＜6月25日（日）15:00～16:30＞ デジタルで世界が完結するメタバースは、輸送コストが高く人口密度の低い秋田県での暮らしと働き方を大きく変える可能性があります。本講座では、メタバースによる社会変革とそれを深化させる没入型技術について紹介します。</p>			
その他	昼食を持参してください。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	情報、生物、数学、物理、国語		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[13] 数学の謎と魅力	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 山村 明弘 (計3名)
授業概要	数学はデータサイエンスやAIなどの科学技術の基礎となっている一方で、まだ解明されていない謎もたくさん残されています。 数学の謎と、それを解明しようとするチャレンジを紹介して数学の魅力に迫ります。		
授業方針	パワーポイントのスライドを用いた授業に加え、実験や実習を通して、数学が我々の生活に役立っていることを感じることができる授業を行います。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 総合研究棟（理工学部6号館）2階講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim.u.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「こんな曲面あるだろうか？ 模型を作って考えよう」 准教授 小林 真人 <7月8日（土）13:20～14:50> 曲面は身近な存在で、日用品、建築物、生体器官などに見ることができるが、中には3次元空間に実現できない曲面もある。目に見えないこの曲面の様子を模型を作って探ろう。見えない図形を探る楽しさと応用上の大切さを感じよう。</p> <p>第2講：「結び目の世界」 助教 橋爪 恵 <7月15日（土）13:20～14:50> 数学の幾何の分野の中に「トポロジー」と呼ばれる分野があるが、今回はそのトポロジーの中から”結び目”という概念を紹介する。結び目とその変形に慣れるために、実際に結び目を作ってみたり、絵を描いてみたりする。</p> <p>第3講：「整数論の応用とコンピュータの可能性」 教授 山村 明弘 <7月22日（土）13:20～14:50> 素因数分解問題などの整数論が現代社会の情報セキュリティ応用に活用されていることを例にとって、コンピュータが計算できることとできないことの境界を明らかにしていきます。</p>			
その他	特になし		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目	数学、物理		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[14] 文理融合の色彩工学入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 教授 山口 留美子 (計1名)
授業概要	人はどのように色を認知しているかを心理学、生理学、物理学、および工学の分野から講義します。油絵・水彩画、印刷技術、CGの色彩表示、における基礎的なカラーマネージメント原理、色の定量化、を学びます。		
授業方針	人の「色覚」に関し、心理学、生理学、物理学の側面から学び、美術、デザインに関心のある文系学生から、色と光のスペクトルの関係や色を認知するまでの生体の仕組み、フルカラー表示による情報伝達を含めた技術に関心のある理系学生へ、様々な領域の学問がかかわり、影響しあっている文理融合としての「色彩工学」を学ぶ。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし（ご自宅等で受講してください）。		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim.u.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急時のみ）科目担当者E-mail：yrumiko@gipc.akita-u.ac.jp（山口先生）		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「人の「色覚」」 ＜8月7日（月）17:30～19:00＞ 心理学、生理学、物理学の側面における色覚を解説する。			
第2講：「加法混色と減法混色」 ＜8月8日（火）17:30～19:00＞ 加法混色と減法混色の違いについて解説し、それぞれのフルカラー表現方式を学ぶ。			
第3講：「色の定性的評価と定量的評価」 ＜8月9日（水）17:30～19:00＞ 色の定性的評価と定量的評価の違いを解説し、定量化の種類とそれらの違いおよび特徴を学ぶ。			
第4講：「照明器具とカラーマネージメント」 ＜8月10日（木）17:30～19:00＞ 身の回りの照明器具の種類により、色の見え方に違いが生じること、それによるカラーマネージメントやユニバーサルデザインについて学ぶ。			
その他	遠隔授業を受講できるインターネット環境（PC、スマートフォンなどの端末、ネット回線）が必要です。		
テキスト			
参考文献			
関連科目	美術、生物、物理、数学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[15] 高校物理でわかる高機能デバイス	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 附属革新材料研究センター 教授・センター長 吉村 哲 (計4名)
授業概要	世の中を便利にしている電子機器は、高校で習う様々な物理の法則を応用して動作していることを理解するとともに、新しい物理法則とそれを応用して高性能化するための飽くなき挑戦（研究開発）を紹介する。		
授業方針	簡単な実験を含む講義を通じて、物理法則や最新電子材料がどのように電子デバイスに応用されているかを体感してもらいながら授業を進める。		
会場・教室	第1・2講（7月15日）：秋田大学 手形キャンパス 理工学部3号館319講義室 第3・4講（7月22日）：秋田大学 手形キャンパス 理工学部1号館D130講義室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim-u.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「物理法則と電子材料は情報記録機器の性能を支配する！」 革新材料研究センター長 兼 物質科学専攻 教授 吉村 哲 <7月15日（土）9:30～11:00>			
『電気と磁気』に関する法則と情報記録機器の動作の関係について簡単な実験を行いながら概説するとともに、新法則の発見・電子材料の開発・情報記録機器の高機能化の関係における歴史と将来展望について述べる。			
第2講：「機能性材料の原子配列を調べてみよう！」 物質科学専攻 准教授 肖 英紀 <7月15日（土）11:10～12:40>			
現代社会を支える電子機器・高機能デバイスは多種多様な物質・材料でできている。本講義では、原子の集合体としての観点から物質・材料を概観し、そのバラエティや原子配列を調べる技術を紹介する。			
第3講：「超音波の性質とそれを用いた技術について学ぼう！」 数理・電気電子情報学専攻 講師 福田 誠 <7月22日（土）9:30～11:00>			
超音波は聞こえないため気が付きにくい、身の回りで広く使われている。本講義では、超音波の性質とその送受波の仕組みや超音波素子（デバイス）とその応用例について概説し、高校物理との関連を紹介する。			
第4講：「光の正体からそれをあやつる最先端研究まで！」 数理・電気電子情報学専攻 教授 河村 希典 <7月22日（土）11:10～12:40>			
光は『波』の性質をもっており、目に見える「可視光」だけでなく、目に見えない「紫外線」や「赤外線」も同じ仲間である。光の正体について実演を交えて紹介し、光デバイス製品と光をあやつる最先端の研究を紹介する。			
その他	講義の中で紹介します。		
テキスト	各講義にて資料を配付します。		
参考文献			
関連科目	物理 秋田大学 物質科学科 材料理工学コース（機能材料系） 秋田大学 数理・電気電子情報学科 電気電子工学コース（電子デバイス系）		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[16] マーケティングとブランディング (ゲーミングの技法を用いた近代マーケティングの誘い)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	産学連携推進機構 准教授 伊藤 慎一 (計3名)
授業概要	世の中には取引可能な財やサービスが数多くあり、生活者はこの中から選好して消費します。消費者が購買する理由を人為的に作り出すことがマーケティングとブランディングです。 本授業ではその意味と具体例を学びます。		
授業方針	座学と実習で進行します。前半は、マーケティングとブランディングの理解に必要な知識習得として理論や学説学派、知的財産権等を概説し、後半はゲーミングの技法を用いて、教室内に仮想市場を構成し実際に流通を体験します。		
会場・教室	秋田大学 手形キャンパス 地方創生センター1号館213会議室		
会場住所	秋田市手形学園町1-1		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jimui.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：16名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「基礎マーケティング論」担当講師：伊藤慎一、北村森、酒井俊之（担当講師は全講義同名） ＜8月26日（土）9:30～11:00＞ そもそもマーケティング学とは何を学ぶ学問なのか、その歴史的背景、意義、学説や学派、位置づけ等を概説する。これにより私たちの消費行動と商品選択がマーケティング活動とどう関係し合っているのかを理解する。			
第2講：「近代ブランディングと知的財産権」＜8月26日（土）12:50～14:20＞ ブランドは消費者の選択に大きな影響を与える指標の一つである。企業はブランドを大切にし、顧客と共に成長する。消費者に新たな価値を届けるためには、適切な権利管理が重要である。ブランドの価値を知的財産の観点から概説する。			
第3講：「近代マーケティングがめざす価値の創造」＜8月26日（土）13:20～14:50＞ マーケティングは近年めざましい進化を遂げており、消費者選好やブランディング戦略は既存の枠組みのとられない新時代に突入している。このような中、近代マーケティングがめざす「価値の創造」とは何か、その意義について概説する。			
第4講：「ゲーミングの技法を用いたマーケティングシミュレーション1」＜8月27日（日）9:30～11:00＞ 近年マーケティング学では現実の市場シミュレーションを再現する手法として実験経済学をベースとし、人為的な取り決めで仮想市場を作り出すゲーミングという研究が進められている。この意義と役割体験の手法を用いた取引の可視化とブランドについて説明する。			
第5講：「ゲーミングの技法を用いたマーケティングシミュレーション2」＜8月27日（日）11:10～12:40＞ ゲーミングの技法を用いて教室内に仮想市場を形成し参加者全員でマーケティング・ブランディングを考える取引シミュレーションを行う。市場の変化や消費者の選考、ブランド戦略の重要性を説明する。			
第6講：「マーケティングとブランディング」＜8月27日（日）13:20～14:50＞ ゲーミングシミュレーションの結果を総括して、マーケティングとブランディングについて再度議論の整理を行う。秋田におけるマーケティングや地方創生などについても論考し、市場の概念と意味を理解する。			
その他	本授業は対話による合意形成やマーケットのダイナミズムを教室内でシミュレーションします。その際、他の授業と比較し会話をおこなう場面が多くなりますが、新型コロナウイルス感染症対策については講義時の政府指針に従って実施します。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[17] ネットワーク技術とセキュリティ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	情報統括センター 准教授 横山 洋之 (計3名)
授業概要	秋田大学の情報教育環境とネットワークについて概説するとともに、情報セキュリティに関する状況について説明します。これらを通じ、今後の情報通信技術について考えていきます。		
授業方針	スライドにより講義を行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：5名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「秋田大学の情報教育環境」 准教授 横山 洋之 <u><6月10日（土）9:30～11:00></u> 秋田大学の情報教育環境がどのようなものか解説し、これを通して最新の情報ネットワーク技術を講義します。</p> <p>第2講：「インターネットの基礎知識 DNS編」 技術専門員 正木 忠良 <u><6月10日（土）11:10～12:40></u> 普段、私たちがインターネットを利用する際に、あまり意識することのないDNSの役割について講義します。</p> <p>第3講：「怪しいメールに気を付けよう～事例に学ぶ見分け方のコツ～」 准教授 片平 昌幸 <u><6月10日（土）13:20～14:50></u> 皆さんは、友人との連絡には電子メールをあまり使わないかもしれませんが、通販などの各種のネットワークサービスの連絡などではまだメールが主役です。 インターネットには、ニセのメールを使って皆さんの個人情報を狙ったりする悪い人たちがたくさんいます。そのようなニセメールにだまされないようにするための見分け方のコツについて、いろいろな事例を元に講義します。</p>			
その他			
テキスト	資料を配付します。		
参考文献			
関連科目	情報		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[18] 高校生のためのSOSの出し方・受け方講座 (自分を守る？他人を守る？)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	自殺予防総合研究センター 特任助教 宮本 翔平 (計1名)
授業概要	こころの健康を良好に保つには、悩みやストレスへの上手な対処方法や友達の悩みを聴くスキルの習得が重要です。本講座は、SOSの出し方・受け方を学習し、自分と友達を守るスキル習得を目標とします。		
授業方針	全てリアルタイム遠隔授業を実施します。課題等はありません。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし（ご自宅等で受講してください）。		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jimu.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: miyamoto@gipc.akita-u.ac.jp (宮本先生)		
授 業 計 画			
【募集定員人数：50名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「高校生のためのセルフケア-コーピング特性とSOS-」 ＜8月5日（土）09:30～11:00＞ あなたは悩みやストレスを感じた時にどのようにして対処しますか？ストレスコーピング理論をもとに、自分のストレス対処特性とSOSの出し方について学習します。			
第2講：「高校生のためのSOSの出し方実践」 ＜8月5日（土）11:10～12:40＞ 第2講で学習したSOSの出し方について、ソーシャルスキルズトレーニングを行います。また、自分が危機に陥った際にどのような対処方法を選択すればよいかを考える演習を行います。			
第3講：「高校生のためのゲートキーパー養成①」 ＜8月12日（土）9:30～11:00＞ あなたの周りに「死にたい」とサインを出している人はいませんか？その人たちに自信を持って対応できますか？自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を行うための知識とスキルを習得します。			
第4講：「高校生のためのゲートキーパー養成②」 ＜8月12日（土）11:10～12:40＞ 第4講で学習したことをもとに演習を行います。			
その他	遠隔授業を受講できるインターネット環境（PC、スマートフォンなどの端末、ネット回線）が必要です。		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブ)	[19] 「あきたの街づくり」マーケティング (秋田は女性にとって住みやすいまちですか?)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁 (計2名)
授業概要	秋田を「女性の住みやすい街に」。そのために何が必要か？マーケティングにおける調査手法「商品企画七つ道具」を活用して、アンケートを設計、実施、解析を通じて、皆さんと一緒に明らかにしていきます。		
授業方針	秋田に愛着があり、問題意識を持っている皆さんに参加してもらいたいです。若干の数学的知識とパソコンで「MS-Excel」「Google Spreadsheet」などの表計算ソフトを使います。もし手持ちのパソコンがあれば持ち込んでください。		
会場・教室	中通サテライト		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話：0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「まちづくりの意義を考える・商品企画七つ道具を学習しよう」 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁、建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 ＜7月16日（日）13:20～14:50＞ この授業で使用するマーケティング手法「商品企画七つ道具」の概要を紹介します。この手法ではグループインタビューを通じてニーズの探索とアイディアの絞り込みを行い、アンケートを分析して重要視するニーズを選び取ります。			
第2講：「グループインタビューをやってみよう」 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁、建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 ＜7月16日（日）15:00～16:30＞ この街に住み続けるにはどのような要素が必要か？街づくりに必要となる要素をたくさん割り出し、アンケートを作ってみましょう。アンケートはGoogleFormsを用いてオンラインで採れるものにし、授業終了後にLINEやQRコードを使って調査依頼を行います。			
第3講：「アンケートを解析してみよう」 教授 嶋崎 真仁 ＜7月23日（日）13:20～14:50＞ アンケートの解析を実際にやってみて、アンケートを設計したときの仮説が正しかったかを検証します。アンケートの解析には「MS-Excel」か「Google Spreadsheet」を使います。			
第4講：「提言のプレゼンテーション」 教授 嶋崎 真仁 ほか ＜7月23日（日）15:00～16:30＞ アンケート結果を使い、県庁や市役所の担当者に提言するプレゼンテーションを作成・実施して、関係者からのアドバイスを受けます。			
その他			
テキスト			
参考文献	神田範明「神田教授の商品企画ゼミナール—Neo」P7 ヒット商品を生むシステム、日科技連、2013		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[20] 3Dモデリングを学ぼう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 機械工学科 准教授 高橋 武彦 (計1名)
授業概要	機械システムから一般的な製品まで、その開発・設計・生産では、3次元CADのデータが使われます。本授業では、3次元CADモデリングの基礎を学びます。そのデータを3Dプリンタで使う場合のポイントもお話しします。		
授業方針	パワーポイントとプリントを用いた説明と、一人1台のPCを使った3次元CADの体験により、授業を進めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「3次元CADを知る」 <7月27日 (木) 14:30~16:00> 3次元CADで出来ること、そのデータの活用方法であるシミュレーション、CAMモデリングとNC加工、3次元図面、3Dプリント等について紹介します。</p> <p>第2講: 「スケッチをマスターしよう」 <7月27日 (木) 16:10~17:40> 3次元CADでのモデリングは、直線、円、長丸、多角形などの作図要素を組み合わせることで3次元形状の基となるプロファイルを作成し、寸法拘束、幾何拘束により形を整えることから始まります。そのプロセスを体験します。</p> <p>第3講: 「パーツをデザインしよう」 <7月28日 (金) 14:30~16:00> 3次元CADでパーツをモデリングするための基本的な考え方を学びます。さらに、基本となるスケッチによる作図と押出し、切り取りなどのフィーチャを組み合わせることで複雑な形状もモデル化できることを体験します。</p> <p>第4講: 「3Dプリンターでつくとしたら？」 <7月28日 (金) 16:10~17:40> 3Dプリンターの仕組みや機能について講義し、実際に3Dプリントします。そして、樹脂を使って3DプリントするFDM型3Dプリンターで使う3Dデータに求められることも紹介します。</p>			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配付します。		
参考文献	なし		
関連科目	物理、数学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[21] C言語プログラミング	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 廣田 千明 (計4名)
授業概要	パソコンやスマートフォンで動くアプリケーションはプログラミング言語でプログラムされています。本科目では代表的なプログラミング言語であるC言語を講義と実習により学習します。		
授業方針	実習を交えながら授業を進めます。本科目は、秋田県立大学システム科学技術学部情報工学科必修科目「プログラミングI」の3回分の授業に相当します。		
会場・教室	秋田県立大学 本荘キャンパス GI417教室		
会場住所	由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「プログラミング入門(1)」 准教授 廣田 千明、准教授 渡邊 貫治、 助教 橋浦 康一郎、助教 伊東 嗣功 (講師は第6講まで同名) ＜6月17日(土) 13:20~14:50＞ ソフトウェア開発の手順を学び、必要となるツールの使い方を学びます。			
第2講: 「プログラミング入門(2)」 ＜6月17日(土) 15:00~16:30＞ フローチャートの書き方を学び、実際にフローチャートを描いてみます。			
第3講: 「C言語の基本的規則(1)」 ＜6月24日(土) 13:20~14:50＞ プログラムから実行可能ファイルを作る手順を学びます。			
第4講: 「C言語の基本的規則(2)」 ＜6月24日(土) 15:00~16:30＞ 標準入出力について学び、簡単なインタラクティブなプログラムを作ります。			
第5講: 「簡単な計算・プリプロセッサ(1)」 ＜7月1日(土) 13:20~14:50＞ 簡単な計算を行うプログラムを作ります。			
第6講: 「簡単な計算・プリプロセッサ(2)」 ＜7月1日(土) 15:00~16:30＞ べき乗や平方根を計算する関数を学び、三角形の面積を計算するプログラムを作成します。			
その他	パソコンを持参できる方はご持参ください。パソコンを持参する場合はGoogleアカウントが必要です。		
テキスト	当日資料を配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	情報、数学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[22] イギリス演劇研究入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 准教授 山崎 健一 (計1名)
授業概要	約400年前にロンドンで流行したエリザベス朝演劇について、概略的説明と初歩的研究を行う。英語で書かれた作品であるが、日本語訳も併用する。演劇台本を文学として研究する手法をいくつか学ぶ。		
授業方針	英文翻訳が主な内容ではない。受講生に対する課題などはないが、第2講では実際に作品を読み、自分なりの解釈をする練習をする。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「エリザベス朝演劇の背景と演劇研究法」 <u><7月15日(土) 11:10~12:40></u> エリザベス朝演劇研究に必要な知識等について学ぶ。</p> <p>第2講: 「シェイクスピアの作品を読む」 <u><8月5日(土) 11:10~12:40></u> 実際にシェイクスピアの作品を読み、様々な解釈を試みる。</p>			
その他	辞書をご持参ください。		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[23] コンピュータ、役に立ちます (プログラミング、インターネット、音響、人工知能)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 廣田 千明 (計4名)
授業概要	私たちの身のまわりにある様々な問題を解決するためにコンピュータが利用されています。そこで本科目ではコンピュータを使って解決するために必要な基礎的な考え方や様々な技術の活用方法を学びます。		
授業方針	講義形式で授業を実施しますが、適宜、実演を交えて授業します。		
会場・教室	秋田県立大学 本荘キャンパス GI417教室 (第1講のみ) 秋田県立大学 本荘キャンパス K336教室 (第2講～第4講)		
会場住所	由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00～17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「プログラミングを学ぼう」 准教授 廣田 千明 <6月6日 (火) 17:30～19:00> 小学校でプログラミング学習が必修化されていますが、なぜ今プログラミングを学ばなければならないのか、また必要とされているプログラミング学習とはどんなものかを講義いたします。</p> <p>第2講: 「パケットの中身をみてみよう」 准教授 寺田 裕樹 <6月13日 (火) 17:30～19:00> コンピュータを使ってデジタルデータを見てみます。</p> <p>第3講: 「音の仕組み、音を作る(創る)には」 准教授 渡邊 貫治 <6月20日 (火) 17:30～19:00> 音の物理的な側面、感覚的な側面に基づくコンピュータによる音の合成の話です。</p> <p>第4講: 「生物から学ぶ人工知能」 助教 伊東 嗣功 <6月27日 (火) 17:30～19:00> 生物学と人工知能の深い関係を紹介します。</p>			
その他	特になし		
テキスト	当日資料を配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	情報、数学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[24] ドローンを作って飛ばそう (ドローンの理解から競技会まで)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 嶋崎 真仁 (計6名)
授業概要	ドローンの組み立てを通じて、ドローンの飛行原理を理解するとともにドローンの可能性について学習する。		
授業方針	若干の電子工作を行うので、制服が汚れないようにエプロンなどを持参すること。また、飛行に際して髪の毛に絡まる可能性があるため、帽子を持ってきてください。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 24名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「ドローンの可能性」 知能メカトロニクス学科 助教 長南 安紀 ＜7月28日 (金) 13:30~14:20＞ ドローンを作り、飛ばす技術を持つことで広がる可能性を知る。			
第2講: 「ドローンはこう動いている」 機械工学科 准教授 境 英一 ＜7月28日 (金) 14:30~15:20＞ ドローンの構成と飛行原理を理解することで、ドローンの基本的知識を学ぶ。			
第3講: 「ドローンをつくってみよう」 情報工学科 准教授 寺田 裕樹 ＜7月28日 (金) 15:30~16:20＞ 自作用のドローンキットを組み立てることを通じて、第2講で学んだ内容を深める。			
第4講: 「ドローンを飛ばすために知っておくべきこと」 生物資源科学部アグリビジネス学科 准教授 永吉 武志 ＜7月29日 (土) 13:20~14:50＞ ドローンを現実に飛ばすために知っておくべき知識を理解する。			
第5講: 「ドローン競技会」 建築環境システム学科 助教 竹内 仁哉 ＜7月29日 (土) 15:00~16:30＞ 手作りしたドローンを使って、レースに参加して、タイムと撮影技術を競う。 ※創造学習参加の小中学生も合流			
その他	持ち物: 汚れてもよい服装 (あるいは作業用エプロン等)、帽子		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[25] プログラミング言語Python入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 情報工学科 准教授 廣田 千明 (計3名)
授業概要	Pythonは人工知能の開発によく使われており、最近人気のコンピュータ言語です。この授業ではPythonの基礎を学び、身長と体重のデータからBMI値を計算するなど簡単なプログラムを作ります。		
授業方針	実習を交えながら授業を進めます。クロムブックなどパソコンをお持ちの方はご持参ください。端末がない場合は貸し出します（その場合もGoogleアカウントのIDとパスワードがあれば作成したプログラムの保存ができます）。 本科目は、秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科・情報工学科選択科目「データサイエンスプログラミングA」の2回分の授業に相当します。		
会場・教室	秋田県立大学 本荘キャンパス GI417教室		
会場住所	由利本荘市土谷字海老ノ口84-4		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: chiaki@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「Google Colaboratoryを使ってみよう」 情報工学科 准教授 廣田 千明、 助教 橋浦 康一郎、知能メカトロニクス学科 准教授 松下 慎也 ＜6月10日（土）13:20~14:50＞ Google Colaboratoryの使い方を学び、変数を用いた簡単なプログラムを作成します。			
第2講: 「簡単な計算」 情報工学科 准教授 廣田 千明、助教 橋浦 康一郎、 知能メカトロニクス学科 准教授 松下 慎也 ＜6月10日（土）15:00~16:30＞ プログラムによる四則計算のルールを学び、その応用として身長と体重のデータからBMI値の計算を行うプログラムを作成します。			
その他	パソコンを持参できる方はご持参ください。Googleアカウントが必要です。		
テキスト	当日資料を配付します。		
参考文献	「ゼロからやさしくはじめるPython入門」クジラ飛行機機著、マイナビ出版		
関連科目	情報、数学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[26] ヨーロッパ・ミュージアム建築の旅	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 建築環境システム学科 准教授 込山 敦司 (計1名)
授業概要	ミュージアムは建築そのものが特色ある作品であり、芸術作品を展示保管するために、機能的にも対応した空間が求められます。今回は、ドイツを中心としたヨーロッパの事例を旅しながら、その魅力にふれていただく機会とします。		
授業方針	令和3年度及び令和4年度の内容を、若干アップデートしたものになります。以前受講した方はご注意ください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「歴史あるミュージアム建築の魅力 (1) 伝統的な空間の改修と活用」 <6月10日 (土) 13:20~14:50> ルーブル美術館 (フランス、パリ)、ウフィッツィ美術館 (イタリア、ミラノ)、アムステルダム国立美術館 (オランダアムステルダム) を題材に、建築の特徴と、改修や増築の際の建築家の提案について解説します。</p> <p>第2講：「歴史あるミュージアム建築の魅力 (2) 歴史を活かし新しい空間をつくる」 <6月10日 (土) 15:00~16:30> シュテッデル美術館 (ドイツ、フランクフルト) などを題材に、長年にわたって増築を繰り返してきた歴史あるミュージアムについて、増築の際の思想や、街との関係、市民の居場所の工夫などについて解説します。</p> <p>第3講：「ミュージアム建築のアイデアと建築家の模索-ホワイトキューブを超えて」 <6月17日 (土) 13:20~14:50> 単に白い箱 (ホワイトキューブといいます) をつくれば便利でよいのか? 光や風景との対話、あえて彫刻作品のようにした建築など、作品と向き合うだけではない、視覚体験や展示方法を模索した (させる) 建築を中心に、解説を行います。</p> <p>第4講：「ある芸術家、ある作品、ある街のための特別な空間」 <6月17日 (土) 15:00~16:30> 特に重要な芸術作品と向き合うための特別な空間が、建築に求められることがあります。秋田県立美術館の「秋田の行事」のための空間などを例にあげることができます。また、街の歴史資源などをテーマにした展示空間では、街や歴史遺産との関係も考えられています。この回では、そうした事例をご紹介します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[27] リスクで分かる判断と違いの心理 (医療・生活・科学技術・政策すべてに役立つリスクリテラシー)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 准教授 金澤 伸浩 (計1名)
授業概要	リスクを確率論的に考えると、何がどれくらい危ないかが整理でき、行動の判断や他人の価値観の理解につながります。リスクの特性やリスクに対する感覚の違いの元になる心理の特性についても学びます。		
授業方針	参加型で気づきを通して学んでいく授業です。グループワークを通してリスクの性質や使い方を楽しく学びます。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：24名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「リスクとは何か」 <8月1日（火）13:20~14:50> 様々な意味で使われるリスクという言葉を確認することで、危ないものに対する判断や他人の価値観が分かることを学んでいきます。科学技術や社会の今後を考える基礎にもなります。</p> <p>第2講：「リスク認知のバイアス」 <8月1日（火）15:00~16:30> リスクの大きさは直感的に捉えがちです。ヒューリスティクスなど心理学的要因により、リスクの受け止め方に違いが出てしまう現象を体感しながら学びます。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[28] 高校数学から大学への数学へ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	システム科学技術学部 経営システム工学科 教授 木村 寛 (計1名)
授業概要	「大学で学ぶ数学とはどのような数学なのだろうか？」高校数学のその先にある、より専門的な数学に触れてみませんか。高校数学のより深い理解にも繋がります。高校生でもわかるように分かりやすく解説します。		
授業方針	高校1年生からの受講が可能です。数学が得意・不得意に関わらず、数学に興味や関心を持っている人大歓迎です。また社会への数学の活用法に興味がある人も大歓迎です。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス (平日9:00~17:00) 電話：0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「大学1・2年生で学ぶ数学（解析学・線形代数学）」 <u><7月8日（土）9:30~11:00></u> 新たな数学の世界の広がりが感じられると思います。n次元空間や、実数、ベクトルなど、一般の数学を学ぶうえで基本的となる概念を解説します。</p> <p>第2講：「データサイエンスの基礎（数理統計学）」 <u><7月8日（土）11:10~12:40></u> 数理統計学はデータサイエンスを学習する上で重要となる数学分野です。数理統計学の基本的な内容について解説します。</p> <p>第3講：「現実問題を解決する数学（数理最適化理論・ゲーム理論）」 <u><7月8日（土）13:20~14:50></u> 最適な経路の求め方や、自分の利益を最大にする戦略の取り方などを考えるゲームの均衡解など、現実問題を解決する数学について解説します。</p>			
その他	ノートや鉛筆など筆記用具をご持参ください。		
テキスト	講義内容をまとめたプリントを配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	数学、情報、経営、経済		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 本荘キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[29] 予備校の物理	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	総合科学教育研究センター 准教授 宮本 雲平 (計1名)
授業概要	微積分を用いることで力学はスッキリと理解ができる。本授業では「数学Ⅲ」の知識を使って力学を再構築し、大学物理の本質に触れる。		
授業方針	オリジナルテキスト（演習問題・詳解付き）で90分の講義を2回行う。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 本荘キャンパス（平日9：00～17：00） 電話：0184-27-2071 E-mail: honjokyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：30名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「微分方程式としての運動方程式」 <u><8月1日（火）17:30～19:00></u> ニュートンの運動方程式を微分方程式として捉え、簡単な運動方程式を解く。</p> <p>第2講：「運動方程式と保存則」 <u><8月8日（火）17:30～19:00></u> 運動量保存則やエネルギー保存則を運動方程式から導出する。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[30] バイオテクノロジーへの招待 (動物・植物・微生物・食品醸造の科学)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 応用生物科学科 准教授 村口 元 (計6名)
授業概要	高校で学ぶ化学や生物の知識がどのように活用されて私たちの生活に役立つものになっていくのかを、伝統的な手法から最新のバイオテクノロジーまで幅広い研究方法を交えながら、分かりやすく専門家が解説します。		
授業方針	授業はオムニバス形式で行います。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス 学部棟Ⅱ E126		
会場住所	秋田市下新城下野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1529 E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) ※第1講 (7/8) : muraguchi@akita-pu.ac.jp ※第2講 (7/8) : zhangh@akita-pu.ac.jp ※第3講 (7/22) : koumno@akita-pu.ac.jp ※第4講 (7/22) : yoshikawa@akita-pu.ac.jp ※第5講 (7/29) : jmurata@akita-pu.ac.jp ※第6講 (7/29) : k-fukuhara@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 30名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「キノコの細胞が成長する仕組み」 准教授 村口 元 ＜7月8日 (土) 13:20~14:50＞ 初めに、応用生物科学科の構成と本学科で行われている研究を紹介し、第2講以降の研究紹介は除く。また、キノコの細胞が伸びる仕組みについての研究を紹介し、科学的に解説します。			
第2講: 「食品の品質と美味しさの科学」 准教授 張 函 ＜7月8日 (土) 15:00~16:30＞ 私たちが毎日食べている食品は、なぜ「おいしい」と感じているのか? またおいしい食品になれる秘密や要因を科学的に解説します。			
第3講: 「植物がつくる特殊な化合物とバイオテクノロジー」 教授 水野 幸一 ＜7月22日 (土) 13:20~14:50＞ 植物特有の有機化合物...二次代謝産物について、例を挙げながら関連する話題と研究事例を紹介し、科学的に解説します。			
第4講: 「「酵母」って聞いたことあるけど、実際のところ何者なのか?」 助教 吉川 雄樹 ＜7月22日 (土) 15:00~16:30＞ まず酵母とは何者なのか、お酒やパン作りの環境でどのように働いているのか紹介し、余った時間で”天然酵母”と呼ばれる酵母についての研究を紹介し、科学的に解説します。			
第5講: 「癌転移の仕組みと転移抑制の試み」 教授 村田 純 ＜7月29日 (土) 13:20~14:50＞ 癌細胞の転移メカニズムを解説し、細胞運動に着目した転移抑制の研究を紹介し、科学的に解説します。			
第6講: 「植物がつくる「毒」と「薬」」 助教 福原 和哉 ＜7月29日 (土) 15:00~16:30＞ 植物がつくりだすさまざまな活性物質を紹介しつつ、それらがどのように研究され、利用されているのかを説明し、科学的に解説します。			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物、化学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[31] 植物アグリサイエンスのいま！ (植物を科学する。農業を科学する。未来を科学する。)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物生産科学科 教授 櫻井 健二 (計4名)
授業概要	ヒトの営みに欠くことができない「食」、その「食」を支える農業、農業を科学する植物アグリサイエンスを深掘り。植物そのモノや植物由来のモノ、これらの新しいモノやモノづくりの技術の「いま」を紹介します。そして、その未来を語りましょう。		
授業方針	生物生産科学科の教員によるオムニバス形式の講義です。各授業終了後に、簡単な授業の感想レポートを書いていただきます。植物を対象とする生物学、植物に関連する仕事や産業、「食」だけではなく、「健康」や「美容」分野、農業に関心を持つ高校生の受講を期待しています。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス 共通施設棟 A211		
会場住所	秋田市下新城中野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1529 E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「植物アグリサイエンスで変わる魅力ある農業」 教授 藤 晋一 <u><8月8日（火）9:30~11:00></u> 植物を科学することで、その機能を巧みに利用した高機能作物の生産や物質（モノ）づくりが実現してきています。ここでは、これからの農業を魅力あるものにする植物アグリサイエンスを紹介します。</p> <p>第2講：「これからの新しい野菜の栽培方法の話をしよう！！」 教授 小川 敦史 <u><8月8日（火）11:10~12:40></u> 安全・安心で身体にいい農産物（高付加価値）を栽培するためには大きく分けて、「栽培学的手法」「育種学的手法」の二つがあります。この講義では人工的に栽培環境を調整して栄養成分を高めたり、食事制限のある人でも食べることでできるようにしたりした野菜の栽培方法を紹介します。</p> <p>第3講：「植物組織培養によるモノづくり～美しく、有用な植物の培養物～」 助教 川上 寛子 <u><8月9日（水）9:30~11:00></u> 人は日頃から健康や美容のために、「有用物質」を利用しています。私は植物を培養して、有用物質を効率的に生産するための研究をしています。講義では、実際に培養物を観察しながら、その不思議さ、美しさ、有用性を感じてみましょう。</p> <p>第4講：「レアプラントハンターによる「あきた伝統野菜」の発掘」 教授 櫻井 健二 <u><8月9日（水）11:10~12:40></u> 希少な植物である「あきた伝統野菜」（レアプラント）を探索し、それらに新しい価値を付与する活動は「レアプラントハンター」と呼ぶことができます。その「レアプラントハンター」の発掘活動を紹介します。</p> <p>第5講：「植物アグリサイエンスの未来を語り合おう！」 教授 櫻井 健二 <u><8月9日（水）13:20~14:50></u> 第1講～第4講までの内容を振り返り、興味深く感じた部分を受講生同士で共有して理解を深めると共に、植物を科学すること、農業を科学すること、未来を科学することの討論会を実施し、科目内容の理解を深めましょう。</p>			
その他	昼食は学内の売店やカフェテリア（食堂）が利用できます。		
テキスト	授業ごとに資料を配付します。		
参考文献			
関連科目	生物学、農学、農芸化学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブ)	[32] おもしろ生物学 ここだけのはなし (～生き物の不思議を科学する～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物生産科学科 准教授 上田 健治 (計3名)
授業概要	大学では机上の勉強だけでなく、研究を通じて新しい発見をすることができます。この授業では、教科書には詳しく書かれていない生物学のおもしろい話題について、県立大学教員の研究なども交えて紹介します。		
授業方針	パワーポイントのスライドを使って授業を進めます。生物学に興味がある生徒はもちろん、そうでもない生徒の受講も歓迎します。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス 共通施設棟A211		
会場住所	秋田市下新城野中野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00～17:00) 電話: 018-872-1529 E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 30名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「細胞の中でおこる不思議な現象」 准教授 上田 健治 <7月9日(日) 9:30～11:10> 性染色体やオートファジーの役割について紹介します。</p> <p>第2講: 「生き物の形を作る遺伝子の話」 准教授 永澤 信洋 <7月9日(日) 11:10～12:40> 生き物、特に植物の形態(ボディプラン)を決める遺伝子がどのようにして発見されてきたか?主に花の発生について紹介します。</p> <p>第3講: 「いきものの進化のしくみ」 准教授 佐藤(永澤) 奈美子 <7月9日(日) 13:20～14:50> 進化のしくみについては、どんなことがわかってきているのか?現在進行中の研究を交えながら、お話ししたいと思います。</p>			
その他	昼食をご持参ください。		
テキスト	プリントを配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (サブタイトル)	[33] 生物環境科学への招待 (-ふるさとの自然環境から地球環境までを見つめる フィールドに密着した科学-)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 生物環境科学科 准教授 石川 祐一 (計4名)
授業概要	秋田の身近な地域から地球規模に広がる自然環境や生物資源の問題をフィールドに密着しながら発見し、生物資源の人間生活（農林業など）への活用と保全、自然環境の修復と再生などに取り組む生物環境科学を紹介します。		
授業方針	基本的に、パワーポイントの投影資料による授業です。		
会場・教室	秋田県立大学 秋田キャンパス 共通施設棟A211		
会場住所	秋田市下新城野中野字街道端西241-438		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話：018-872-1529 E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講：「多彩な植物を土壌環境の修復に活かす」 教授 石川 祐一 <6月25日（日）9:30~11:00> 動物と違って自分で自由に移動できない植物は環境に応じた進化を遂げてきました。土をとりまく環境問題を概観するとともに、そのような環境問題の解決に多彩な植物をどう活かすか考えます。			
第2講：「水環境の保全に向けて珪藻を増やす」 助教 渡邊 俊介 <6月25日（日）11:10~12:40> 珪藻は動物プランクトンなどの良質な餌として水界生態系を支えています。珪藻の中にはアオコなどの有害な藻類の増殖を抑制できるため、水環境の保全に不可欠です。珪藻を増やす又は保全する方法について考えます。			
第3講：「微生物生態学へのいざない～環境修復&新資源獲得を目指して～」助教 渡邊 美穂 <6月25日（日）13:20~14:50> 我々の身の回りは目に見えない微生物で満ち溢れていますが、地球環境の微生物の大多数はどのように生きているのかすらも全く分かっていません。本講義では、ヒトの住めない極限的環境に存在する微生物の生きざまに関する知見やそれらのバイオテクノロジーへの適用可能性について紹介します。			
第4講：「持続可能な地域づくりとは？」 教授 谷口 吉光 <6月25日（日）15:00~16:30> 高齢化や過疎化に悩む秋田県。地域に人が住み続け、楽しく暮らしていくためには何が必要なのかを一緒に考えましょう。			
その他	昼食をご持参ください。		
テキスト	なし		
参考文献	特になし		
関連科目	高校理科（特に、生物・生物基礎、化学・化学基礎）、地域社会、数学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田県立大学 秋田キャンパス
科目名 (学名)	[34] 高校生のためのアグリビジネス入門 (農業から未来を考える)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生物資源科学部 アグリビジネス学科 教授 重岡 徹 (計4名)
授業概要	今、農業には新しい風が吹いています。バイオテクノロジー、ICT、AI等の先端技術が農業生産、流通、消費そして農村コミュニティに活力をもたらしています。本講座では、先端技術を取り入れたアグリビジネスを紹介し、農業が創造する私たちの未来について考えます。		
授業方針	具体的な事例や今日的な話題を多く用いながら、身近なことから専門的なことまで、わかりやすく講義します。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田県立大学 秋田キャンパス (平日9:00~17:00) 電話: 018-872-1529 E-mail: akyomu@akita-pu.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 48名】 先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「アグリビジネスが創造する新しい農業・農村」 教授 重岡 徹 <6月17日 (土) 9:30~11:00> アグリビジネスはこれからの農業・農村の活力源です。秋田県でも農業農村の活性化を目指して多様なアグリビジネスが展開していますが、その一端であるグリーン・ツーリズム活動から新しい農業農村の姿を見てください。			
第2講: 「花と緑がもたらす未来の可能性-癒しと安らぎのある生活を-」 准教授 神田 啓臣 <6月17日 (土) 11:10~12:40> 花と緑を使って、私達の生活に癒しと安らぎを与えるための研究例として、「バイオテクノロジーを利用した花の大量生産」と「高齢化社会に花と緑を役立たせる園芸療法」を紹介します。			
第3講: 「ICTを活用した農産物流通の現状と可能性」 助教 末永 千絵 <6月17日 (土) 13:20~14:50> ICTは流通においても変化をもたらしています。授業では農産物のインターネット取引を事例に、生産者から消費者に届くまでの現状の仕組みと将来の可能性について、最新の研究結果を交えて紹介します。			
第4講: 「未来を守る農業水利施設の保全管理技術」 准教授 永吉 武志 <6月17日 (土) 15:00~16:30> 農業にとって大切な水は、堰や水路などの様々な農業水利施設を経由しながら農地まで運ばれます。この農業水利施設の保全管理に関する最新の研究や技術開発の動向を紹介します。			
その他	昼食をご持参ください。		
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	国際教養大学
科目名 (サブタイトル)	[35] 国際教養学への招待 (Invitation to International Liberal Arts)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	国際教養学部 国際教養学科 講師 Mark De BORE (計3名)
授業概要	世界を理解するには何が重要か、大学での「学問がいかに楽しいか」、国際感覚を身に付けるには高校時代に何を準備すべきか等を、国際教養大学の教員が各専門分野の研究結果を踏まえ、様々な角度から指導します。		
授業方針	演習やワークショップ形式を中心に行うため、積極的に授業に参加することが期待されます。なお、受講者による事前準備はありません。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	国際教養大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-886-5931 (入試室直通) E-mail: admissionoffice@gl. aiu. ac. jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「An Introduction to Critical Reading: Understanding and Re-thinking Perspectives」 講師 Mark De BOER (マーク ディボア) ＜6月10日（土）11:10~12:40＞ In this lecture, we will read and evaluate a famous children's story. Initially, we will examine the story's characters and how they play a role throughout but also, we will explore all of the parts of the story that help 'create or build' its main thread or 'plot'. In other words, we will learn how a story is constructed from the perspective of the main character.</p> <p>第2講：「Let's talk about ChatGPT: (How) will this tool change your learning?」 助教 Irina KUZNETCOVA (イリーナ クズネツォワ) ＜6月10日（土）13:20~14:50＞ ChatGPT is an Artificial Intelligence technology, a chatbot that can answer your questions and prompts. But how much can we trust the quality of this output, and what kinds of things can ChatGPT do for us? Together, we will learn about the Natural Language Processing technology behind ChatGPT.</p> <p>第3講：「The Psychology of Gossip: Why People Can't Stop Talking About Each Other」 助教 Pamela TAYLOR (パメラ テイラー) ＜6月10日（土）15:00~16:30＞ Gossip is found in every culture of the world, which indicates that it plays an important role in human relationships and communities. However, gossip is often seen as bad because it can be untrue and can hurt the people being talked about. In this talk, we will discuss the positive aspects of gossip.</p>			
その他	講義は全て英語で行います。		
テキスト	特になし。（講義により資料を配付する可能性あり。）		
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[36] 日商簿記3級に合格しよう	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 教授 國井 法夫 (計1名)
授業概要	6月初めから6回にわたり日本商工会議所簿記検試験3級に合格するための授業を最初から実施します。目標は11月に実施される検定試験に合格することです。とはいえ、簡単には合格しませんので、そのための勉強を普段の勉強と共にしなければなりません。その覚悟をして受講してください。		
授業方針	やさしく教えますので安心してください。ただ、簿記は実務から出発したものですので練習問題をやり、身体で覚えてしまうほど慣れなければなりません。このため練習問題を数多くやることができる人が合格できます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「簿記の基礎I」 <u>＜6月2日（金）17:30～19:00＞</u> まず、簿記4級の範囲をやります。ここでは簿記の基本的な用語の理解、仕訳、総勘定元帳への転記、試算表、損益計算書、貸借対照表等に関する基礎知識を学びます。</p> <p>第2講：「簿記の基礎II」 <u>＜6月9日（金）17:30～19:00＞</u> 前回に続き、簿記の基本的な用語の理解、仕訳、総勘定元帳への転記、試算表、損益計算書、貸借対照表等に関する基礎知識を学びます。</p> <p>第3講：「諸取引の記帳I」 <u>＜6月16日（金）17:30～19:00＞</u> この時間から3級の内容に入ります。現金・当座預金・小口現金・仕入・売上・商品有高帳等の会計処理を練習問題とともに学びます。</p> <p>第4講：「諸取引の記帳II」 <u>＜6月23日（金）17:30～19:00＞</u> 手形・減価償却・固定資産台帳・営業費・法定福利費・税金等の処理を学びます。</p> <p>第5講：「決算I」 <u>＜6月30日（金）17:30～19:00＞</u> 決算整理・費用の前払い収益の前受け・費用の未払い・収益の未収等を学びます。</p> <p>第6講：「決算II」 <u>＜7月7日（金）17:30～19:00＞</u> 試算表・精算表・損益計算書・貸借対照表の作成を学びます。</p>			
その他			
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配付します。		
参考文献			
関連科目	公共		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[37] INTERNATIONAL COMMUNICATION (英語・仏語等とビジネスのハーモニー)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 教授 坂元 浩一 (計1名)
授業概要	西欧の言語（英語、仏語、イタリア語など）を使って、ビジネスの商品や戦略を説明します。国内外の多国籍企業として、身近なスターバックスコーヒー、マクドナルド、コンビニから高級ブランドまでを扱います。		
授業方針	授業の運用は英語やその他言語ですが、商品や基本的な戦略図が示されますので、内容は理解できます。外国語によるマーケティング（販売促進）の授業を受けるつもりで、受講しませんか。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学（平日9：00～17：00） 電話：018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「INTERNATIONAL COMMUNICATION (1)」 <u><6月6日（火）17:30～19:00></u> 異文化や経営の外来語を理解しながら、身近なスターバックスコーヒー、マクドナルド、コンビニの店頭あるいはWEBの商品を扱い、マーケティングの基本戦略を説明します。西欧言語を学ぶ意義も説明します。</p> <p>第2講：「INTERNATIONAL COMMUNICATION (2)」 <u><6月13日（火）17:30～19:00></u> 実際のバレンタイン商戦などに即して、フランス、イタリアなどの高級ブランド（ファッション、チョコレートなど）のマーケティングを取り上げます。国際的なビジネスにおける心得もアドバイスします。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[38] なぜ学校は必要なのか？ (『脱学校の社会』から)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 准教授 市原 光匡 (計1名)
授業概要	情報化の進展に伴って、学校以外のさまざまな場で知識や技術を獲得できるようになるなか、学校の存在意義が問われています。昔から問われてきたこのテーマについて、イリッチの脱学校論をもとに検討します。		
授業方針	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付し、それに沿って授業を進めていきますが、みなさんが議論する時間も持つ予定です。授業のテーマである学校の存在意義について、みなさんなりに考えておいていただきたいと思います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 15名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「教育病理と脱学校論」 <6月8日(木) 17:30~19:00> 学校の急速な普及・拡大は、多くの国々で教育病理を生じさせ、学校改革や学校そのものの存在意義が問われることとなりました。なかでも、学校制度全体を廃絶するというイリッチの主張を取りあげ議論します。</p> <p>第2講: 「なぜ脱学校は実現しないのか？」 <6月15日(木) 17:30~19:00> イリッチは、学校に代わる教育の制度も提案しています。彼のことばを借りつつ、脱学校化した社会のイメージを描くとともに、なぜ現実には脱学校化が実現していないのか、なぜ学校が必要とされているのか検討します。</p>			
その他			
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配付します。		
参考文献	イヴァン・イリッチ『脱学校の社会』[The Deschooling Society] 東洋・小沢周三訳, 東京創元社, 1977.		
関連科目	公共		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[39] 縮小する秋田経済 (秋田県の名目GDPは1996年度がピーク！)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 准教授 深澤 泰郎 (計1名)
授業概要	人口、GDP統計、その他統計によって、秋田県経済が縮小している実態を説明します。		
授業方針	実態の説明と、その打開策を探りたいと思います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 15名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「縮小する秋田経済(1)」 ＜6月20日(火) 17:30~19:00＞ 秋田県の人口問題について、実態を説明するとともに、将来予想を説明します。市場予想、経済予想と違い、人口予想はまずその通りになります。 実際には2020年は約96万人、2022年は約93万人(最新データ)で、2040年は約67万人になると予想されています。毎年約1万4千人ずつ、減少していくという非常に暗い予想になります。まず、この現実を確認します。			
第2講: 「縮小する秋田経済(2)」 ＜6月27日(火) 17:30~19:00＞ 秋田県GDP統計、その他の統計によって、秋田県経済が縮小している実態を説明し、打開策を探ります。 上記のように、人口減少を主因として、秋田県経済は名目GDPで見れば、縮小しています。この状態を打開する方法はあるのでしょうか? 容易な話ではないのですが、実態を把握したうえで、打開策を考えてみましょう。			
その他	自分で納得してみるため、簡単な電卓(またはそれに代替可能なもの)を持参してください。		
テキスト	特にありません。講義内容にかかわる図表を、資料として配付し、黒板を使用します。		
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[40] ドイツ語へのいざない (ドイツ語とドイツ語圏文化の紹介)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	経済学部 経済学科 准教授 西巻 丈児 (計1名)
授業概要	ドイツ語に特有な、発音・発声を実際にしたり、ごく初歩の基礎的な言い回しを覚えたりしながら、ドイツ語での簡単なコミュニケーションを練習してみます。また授業では、コラムや映像などを通じてドイツ語圏の文化にもたくさん触れていきます。		
授業方針	初めての言語であるドイツ語を、実際に何度も発音してみますので、積極的に参加してください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「ドイツ語のabc、あいさつとドイツ文化」 <6月28日 (水) 17:30~19:00> ドイツ語のabcとドイツ語のあいさつを、実際に口にして練習します。また、ドイツの文化を学んでいきます。</p> <p>第2講: 「ドイツ語での自己紹介とオーストリア文化」 <7月5日 (水) 17:30~19:00> ドイツ語のごく初歩の言い回しを練習して、自己紹介をしてみます。また、ドイツ語圏のオーストリアの文化を学んでいきます。</p>			
その他			
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[41] 世界史と法学 (欧米の歴史から「国のかたち」を考える)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 教授 佐藤 寛稔 (計1名)
授業概要	法学、政治学、社会学において、国の成り立ちや歴史的な経緯を知ることは必須です。この授業では、近代市民革命期から現代までの歴史をふまえつつ、人間と権力のあるべき姿、人の共生について検討します。		
授業方針	法や政治のさまざまな側面を扱います。中でも、国の成り立ちとの関りが最も深い、「憲法」を思考の軸とします。時事的な話題も取り上げます。新聞やテレビのニュースをよく見ておいてください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 15名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「権利が欲しい、あの革命！」 <6月3日(土) 13:20~14:50> フランス革命以前の中世ヨーロッパでは、国王、貴族、ギルド(職能団体)が力を持っていました。ルイ16世とマリー・アントワネットの処刑と人権宣言による、世界の変化とその後の人権の進展と背後の歴史について検討します。</p> <p>第2講: 「平等にしたい、この世界！」 <6月3日(土) 15:00~16:30> 世の中の「平等」が、本当の意味で平等といえるのかを、クイズ形式で問います。さらに、アメリカ独立宣言、奴隷制度、人種差別など歴史から、多様化が進む現代を見直しましょう。</p>			
その他	筆記用具を持参してください。		
テキスト	なし		
参考文献	授業中に資料を配付します。		
関連科目	世界史、日本史、現代社会、倫理、政治・経済、法学、政治学、社会学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[42] 弁論で権利を守る法律学 (事例で学ぶ民事法の技術)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 准教授 應本 昌樹 (計1名)
授業概要	権利を守るには、法律を知っているだけでは不十分で、法と事実によって理由づける弁論の技術が必要です。この授業では、民事事件における法律家の役割や技能の基本を学び、法律学の技術的な一面を理解します。		
授業方針	講師自身の弁護士経験にも触れながら、簡単な事例の検討を通じて、民事事件の検討に必要な知識と技術を解説します。積極的な質問や意見表明を歓迎します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「法律家の役割」 <u><7月12日（水）17:30~19:00></u> 欧州では、古くから、法律家は、医師や聖職者と並ぶ古典的専門職（プロフェッション）とされてきました。弁護士や検察官、裁判官などの法律専門職の成立ちや役割、技能などについて学びます。</p> <p>第2講：「民事法の仕組み」 <u><7月19日（水）17:30~19:00></u> 契約、所有権、損害賠償に関する事例を検討します。これにより、民事事件における法の働きを理解し、事件の論じ方を学びます。</p>			
その他			
テキスト	指定しません。毎回資料を配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	公共、政治・経済、世界史探究		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[43] 国際人道法から紛争解決の道を考える (次の世界大戦を生まないために)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 教授 佐藤 克枝 (計1名)
授業概要	2022年2月のロシア・ウクライナ侵攻以来、世界の秩序が揺らいでいます。この中で、国際人道法とその役割や、わが国が今後どのように国際社会にかかわっていくべきかを考えます。		
授業方針	基本的な事項を講義した上で大学のゼミナール方式で行います。受講者の意見を聞きながら進めますので積極的に参加してください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：15名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「国際人道法とは」 <u><8月4日（金）9:30~11:00></u> 国際人道法の概要とこれまでの戦争や紛争での違反事例、遵守事例を見ていきます。日本が国際人道法を守ったことで国際的に高い評価を得た事例についても紹介します。</p> <p>第2講：「紛争解決の道を考える」 <u><8月4日（金）11:10~12:40></u> 国際人道法違反を処罰する方法を見ていきます。さらに国際連合の今後の在り方と日本の役割について考えていきましょう。</p>			
その他	なし		
テキスト	プリントを配付して、それに従って授業を進めます。		
参考文献	ジュネーヴ条約の解説（「ジュネーヴ諸条約及び追加議定書の主な内容」 外務省HP https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/k_jindo/naiyo.html ）		
関連科目	歴史総合、世界史探究、地理総合、地理探究、公共、政治経済、総合的な探究の時間、国際関係論、安全保障論		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[44] 刑法について考える (episode:0 first contact)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 法律学科 講師 岡崎 頌平 (計1名)
授業概要	法律を学ぶことの意味を、刑法(本授業では殺人罪を採りあげます)を素材に考えていきましょう。		
授業方針	2コマと短い時間ではありますが、法学が説得の学問であり、汎用性のある思考力を養う場であることを感じてもらえればと思います。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 15名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「人を殺した」を考える① (因果関係) <u><8月4日 (金) 9:30~11:00></u> AがBを殺害しようと包丁で刺した。Bはすぐに救急搬送されたが、救急車が途中で事故に遭い、Bは死亡した。AはBの死について責任はあると思いますか。第1講ではこのような因果関係に関する問題を扱います。</p> <p>第2講: 「人を殺した」を考える② (故意と錯誤) <u><8月4日 (金) 11:10~12:40></u> AがBを殺害しようと暗がりでもBの背中を刺して、重傷を負わせた。しかし、実際にはBによく似たCを刺しており、その後Cは死亡した。この場合、Aにはどのような犯罪が成立するのでしょうか。第2講ではこのような錯誤の問題を扱います。</p>			
その他	2コマ連続になりますので、適宜休憩を取りながら、のんびりやります。		
テキスト	特になし		
参考文献	仲道祐樹『刑法的思考のすすめ』 (大和書房・2022年)		
関連科目	政治・経済、現代社会		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[45] 言語と世界観 (話す言語により見える世界が変わる!?)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 准教授 三浦 薫 (計1名)
授業概要	世界中の言語はそれを話す人々の文化、習慣によって作られたものであり、単なる道具ではありません。言語の持つ世界観を学べば、日本人にとって英語を学ぶことが難しい理由もわかるかもしれません。		
授業方針	一方的に講義を進めるよりは、参加高校生に「自分で考える機会」を提供しながら進めたいと考えています。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「バイリンガルの人には多重人格？」 <6月1日（木）17:30~19:00> 同じ1人の人が異なる言語を話すとき人格が変わるか？</p> <p>第2講：「言語によって世界観は変わるか？」 <6月8日（木）17:30~19:00> 言語を学ぶということの意味、意義を考えよう。</p>			
その他	特になし		
テキスト	特になし		
参考文献	特になし		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[46] エアラインサービス論 (空港女子ってなに?)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 横田 恵三郎 (計1名)
授業概要	航空機の歴史的発展を振り返りながら、航空業務をチームで支えている人々、とりわけ「空港女子」にスポットライトを当て、高校生の皆さんが航空に興味を持ち将来の夢を大きく広げるきっかけを作る内容となっています。		
授業方針	画像や映像を多用し、高校生の興味・関心を引き出すよう工夫しています。将来CAやGS（グラウンドスタッフ）になることを選択の一つに考えている人は是非受講してください。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学（平日9：00～17：00） 電話：018-836-4337 E-mail：kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「空を飛ぶ夢を追い続けた人々～飛行機はなぜ浮いてなぜ飛べるの?～」 ＜6月2日（金）17:30～19:00＞ 初めて空を飛んだ人類はライト兄弟だと思われがちですが、果たしてそうでしょうか？あくなき挑戦を続けた人々を紹介し、航空ビジネスが進化した道のりを辿っていきます。</p> <p>第2講：「空港女子の仕事をとおしてエアラインサービスを考えてみよう」 ＜6月9日（金）17:30～19:00＞ 飛行機はパイロットだけで運航されるわけではありません。たくさんの仕事があって大きなチームが連携して安全・安心な旅をお客様に提供しています。近年では航空や空港で活躍する女性が急激に増えています。「空港女子」の今を探ります。</p>			
その他			
テキスト	当日資料を配付します。		
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[47] ユニバーサルツーリズムとSDGs (誰ひとり取り残さないテーマパークへの旅)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 准教授 井上 寛 (計1名)
授業概要	ユニバーサルツーリズムとSDGsの共通点は「誰ひとり取り残さない」という考え方。どんな人でも楽しめる旅はちょっとした工夫とアイデアで実現します。みんなで楽しむことができる旅行プランを考えてみましょう。		
授業方針	映像とスライドをみながら、ユニバーサルツーリズムとSDGsについてわかりやすく説明します。資料は当日配付します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: inoue-h@nau.ac.jp (井上先生)		
授 業 計 画			
【募集定員人数: 20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講: 「ユニバーサルツーリズムとSDGs」 ＜6月3日 (土) 9:30~11:00＞ ユニバーサルツーリズムとSDGsという考え方はどのような経緯で誕生したのでしょうか。世界と日本のうごきを観光学の視点から学びます。			
第2講: 「どんな人でも楽しめるテーマパークへの旅」 ＜6月3日 (土) 11:10~12:40＞ 東京ディズニーランドやユニバーサルスタジオジャパンなどのテーマパークには、どんな人でも楽しめる工夫がいろいろなところに施されています。どんな人でも楽しめる旅行をみなさんにプランニングしてもらいます。			
その他			
テキスト	必要に応じて資料を配付します。		
参考文献	授業内で紹介します。		
関連科目	地理総合、地理探求 公共(現代社会)、政治・経済		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (英対訳)	[48] 小説を書く (社会を描く、文学を創る)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 助教 小森 真人 (計1名)
授業概要	文学小説の書き方を学んで、一篇のオリジナル短編小説を最後に完成させます。あわせて、文学とは何か、どのように書けば文学になるのかについても考えます。		
授業方針	授業は、ワークショップ形式で行います。毎回定められたテーマで小作品を書いてきてもらいます。他の人が書いてきた作品に対する批評を通して、客観的に自分の作品をとらえ直して改稿する訓練を行います。また、授業では最新の文学作品についても紹介します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		

授 業 計 画

【募集定員人数：6名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「文学とは何か／アイディアの出し方・作り方」＜6月6日（火）17:30～19:00＞

文学小説とは何か、どのように書くのかについて概説を行います。その次に、文学を描くためのアイディアの出し方や作り方について、フリーライティングやマインドマッピングの方法を用いて練習を行います。

第2講：「プロットの書き方」＜6月13日（火）17:30～19:00＞

プロットは小説を書くための設計図です。設計図なしでは作品を作ることはできません。この回では小説の典型的なストーリー構造について学習し、実際にオリジナル小説の創作に向けたプロット作成を行います。

第3講：「キャラクターの描き方」＜6月20日（火）17:30～19:00＞

魅力的な小説を描くためには魅力的なキャラクターを造形することが必要です。キャラクターの葛藤や過去、性格などどのように設定するのかについて、前回作成したプロットを元にしてキャラクターを作成します。

第4講：「会話や心理描写の描き方」＜6月27日（火）17:30～19:00＞

前回作成したキャラクターを基にして、会話の描き方や心理描写をどのように描けばよいのかについて考えます。最後にオリジナル小説課題提出に向けた課題の取り組み方についても説明します。

第5講：「課題作品途中提出」＜7月4日（火）17:30～19:00＞

取り組んでいる途中の作品を提出し、全員で読んで討論し、講評を行います。指摘された点を修正して、最終課題提出に向けた改稿作業に取り組みます。

第6講：「最終作品課題の短編小説の提出と講評」＜7月11日（火）17:30～19:00＞

提出された短編小説を全員で読んで講評を行います。今後の創作活動に向けて、どのように取り組んでいくべきか、文学とはどうあるべきかについてまとめを行います。

その他	
テキスト	森沢明夫（2022）『プロだけが知っている小説の書き方』飛鳥新社
参考文献	年森瑛（2022）『N/A』文芸春秋、小林真大（2022）『新装版 文学のトリセツ』五月書房新社、プロディ（2019）『SAVE THE CATの法則で売れる小説を書く』フィルムアート社、ワイランド（2013）『アウトラインから書く小説再入門』フィルムアート社、アッカーマン（2022）『対立・葛藤類語辞典』フィルムアート社、マッキー（2022）『キャラクター 登場人物の本質と創作の技法』フィルムアート社
関連科目	

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[49] 明日の私はもっといい (ホスピタリティ&コミュニケーション)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 千葉 隆一 (計1名)
授業概要	ビジネスシーンとプライベートライフに役立つコミュニケーション力を、エアラインの事例を基に学び（磨き）ます。自分を知ること（自己理解）で自信を持てるようになります。自分の最大の敵は自分です。大切なのは心の持ち方です。		
授業方針	理論としての「ホスピタリティ・コミュニケーション」を理解し、形として具体的に行動に移し、身に付けていく授業です。ゲームやグループワークをするので、積極的な参加姿勢が求められます。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学（平日9：00～17：00） 電話：018-836-4337 E-mail: chibaryu@fan.hi-ho.ne.jp（千葉先生）		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：25名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「自分を知る（自己理解）」 <6月24日（土）9:30～11:00> トランプを使って自己理解（自己分析）を行います。自分自身のパーソナリティーを理解することで自身の行動特性や価値傾向を知ることができます。</p> <p>第2講：「コミュニケーション技法」 <6月24日（土）11:10～12:40> 社会人として必要な資質や能力を身に付け、私生活や将来どんな仕事に就いても役に立つコミュニケーション力を学び（磨き）ます。そして、人生をもっと楽しく有意義なものにするための考え方を身に付けられます。</p>			
その他			
テキスト	テキストは使用しません。資料は当日配付します。		
参考文献	適時紹介します。		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[50] 看護・介護のコミュニケーション学 (この仕事で本当の自分を見つけよう！)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 千葉 隆一 (計1名)
授業概要	最新設備と技術が整った病院や老人介護施設でも、求められるのは患者さんや入所者さんとのより良いコミュニケーションです。患者さん入所者さん、スタッフ同志の人間関係の構築 (communication) について考察します。		
授業方針	理論としての「コミュニケーション」を理解し、形として具体的に行動に移し、身に付けていく授業です。ゲームやグループワークをするので、積極的な参加姿勢が求められます。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: chibaryu@fan.hi-ho.ne.jp (千葉先生)		

授 業 計 画

【募集定員人数：25名】先着順で募集を締め切ります

第1講：「第一印象（出会いの瞬間を大切に）」

＜6月24日（土）13:20～14:50＞

患者さんや入所者さんとのより良いコミュニケーションに大切なのは何でしょうか？それは第一印象です。第一印象の悪い看護師や介護士に心まで預ける気持ちになるのでしょうか。人の印象はどのようにして決まるか、言葉によらない（ノンバーバル）コミュニケーションの重要性などについて考察します。

第2講：「コミュニケーション技法（積極的、創造的なアプローチのために）」

＜6月24日（土）15:00～16:30＞

病院や老人施設など職場では特に人間関係で悩んだり私生活で落ち込んだりすると良いサービスは提供できません。良いサービスを提供するためには自分自身及び自分の仕事に自信を持つことが何よりも大切です。ビジネスシーンとプライベートライフを充実させるために。

その他	
テキスト	テキストは使用しません。資料は当日配付します。
参考文献	適時紹介します。
関連科目	

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[51] 『鬼滅の刃』と聖地巡礼	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 教授 橋元 志保 (計1名)
授業概要	2023年冬、ワールドツアーが行われ、世界95の国と地域で上映された『鬼滅の刃』。炭治郎や禰豆子、善逸、煉獄、義勇といった魅力あふれる登場人物たちを生み出した、日本の風土と文化に今、世界の注目が集まっています。『鬼滅の刃』の魅力の秘密に迫ります。		
授業方針	パワーポイントを使用して、物語の舞台をはじめとする様々な映像を視聴しながら、『鬼滅の刃』と日本の風土・文化との深いつながりを明らかにします。鬼と人の文化史や物語の世界観・人物像・テーマ等について解説します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「『鬼滅の刃』と聖地巡礼」 <6月24日（土）13:20~14:50> 実は炭治郎や禰豆子、善逸たちは、日本の美しい自然や神社とゆかりが深い人物なのです。物語の舞台となった東京・京都・九州の聖地を中心に『鬼滅の刃』の登場人物たちの魅力の秘密に迫ります。</p> <p>第2講：「『鬼滅の刃』の生命観」 <6月24日（土）15:00~16:30> 炭治郎をはじめとする鬼滅隊士たちは何故、人間よりもはるかに強靱で様々な異能を持つ鬼(不死者)と、命がけで戦い続けるのでしょうか。『鬼滅の刃』のテーマの一つは「生きることの意味」です。煉獄の最期の言葉のように、作品に刻印された手がかりをもとに「いのちとは何か」について皆で考えていきましょう。</p>			
その他			
テキスト	資料を配付します。		
参考文献	授業時に紹介します。		
関連科目	国語、地理、日本史等		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[52] 絶景のアニメ聖地を旅する観光学	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 准教授 井上 寛 (計1名)
授業概要	アニメに登場する美しい景色の場所を見たときに「行ってみたい」と思ったことはありませんか？新しい観光の形ともいえるアニメの聖地にはどのような魅力があるのでしょうか。観光学の視点から学びます。		
授業方針	パワーポイントの映像やガイドブックを見ながら、観光学についてわかりやすく説明します。資料は当日配付します。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	(当日緊急時のみ) 科目担当者E-mail: inoue-h@nau.ac.jp (井上先生)		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：30名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「行ってみたい」と思うアニメの聖地の魅力とは <7月7日（金）17:30～19:00> アニメ好きでもそうではなくても「行ってみたい」と思える、アニメの聖地巡礼の魅力とは何なのか。その理由を観光学の視点から探ります。</p> <p>第2講：「絶景のアニメ聖地を旅する」 <7月14日（金）17:30～19:00> 地図を片手に日本そして海外にある絶景アニメ聖地のバーチャルツアーへ出かけましょう。映えるスポットはどこにあるのでしょうか。</p>			
その他			
テキスト	必要に応じて資料を配付します。		
参考文献	授業内で紹介します。		
関連科目	地理総合、地理探求 公共(現代社会)、政治・経済		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面とリアルタイム遠隔の併用型授業	大学等名	ノースアジア大学
科目名 (サブタイトル)	[53] 秋田とドイツの「まちづくり」国際比較 (秋田市とドイツ・ハレ市におけるコンパクトシティ政策・行政)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	法学部 国際学科 講師 寺迫 剛 (計1名)
授業概要	今まさに岐路にある「多核集約型コンパクトシティ」としての秋田市のこれまでとこれからについて、ドイツの中規模都市ハレ市等と比較しながら、比較政治学的、行政学的、公共政策論的、都市政策論的な文脈で考えましょう。		
授業方針	カレッジプラザのある明德館ビル（2005年竣工）を含め、2010年代まで中心市街地の再開発に取り組んできた秋田市政は、2020年末以降、それまで抑制していたはずの郊外の外旭川地区でのイオン複合施設やサッカースタジアムを含む新規大規模開発推進へ政策を転換しました。なぜ？これからどうなる？秋田に関係する誰もが影響を受けるからこそ、知っておくこと、欧州との比較の「ものさし」をあてることに価値があるはずです。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	ノースアジア大学（平日9：00～17：00） 電話：018-836-4337 E-mail: kyomu@nau.ac.jp		
遠隔授業時 連絡先	（当日緊急時のみ）科目担当者E-mail: terasako@nau.ac.jp（寺迫先生）		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「コンパクトシティとしての現状と課題」 <8月1日（火）13:00～14:30> そもそもコンパクトシティ（政策）とは何か？から始め、秋田市の計画や戦略を概観しつつ、その現状について認識しましょう。その際、比較の視点として、担当教員が実際に数年間留学していたドイツのハレ市についても紹介します。</p> <p>第2講：「コンパクトシティとしての将来の見通し」 <8月1日（火）14:40～16:10> 秋田市が推し進める「外旭川地区まちづくり基本構想」が今後どのように推移するにせよ、ドイツの事例も参照しつつ「まち・ひと・くらし」の将来像について検討しましょう。秋田の未来がどうなっちゃうのか、「信じるか信じないかは・・・」ではなく、「信じようが信じまいが」あなた達次第です！</p>			
その他			
テキスト	レジュメを配付あるいは、Zoom等で各自のデジタルデバイスに共有します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	公共(現代社会)、政治・経済、地理、歴史総合		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田看護福祉大学
科目名 (サブタイトル)	[54] ようこそ、看護学の世界へ (～看護学の奥深さにふれましょう～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護福祉学部 看護学科 准教授 黒澤 繭子 (計4名)
授業概要	人々の健康や生命を守る看護の本質に触れながら、看護を必要とする方たちの健康と生活を支援する看護学の魅力を紹介し、看護学科の専門領域の授業を通して、看護学の今後の可能性を高校生の皆さんと共に考えていきます。		
授業方針	大学で行っている「看護学」の講義や演習を身近に感じてもらうために、受講者参加型の講義と演習で構成し、有意義な授業となるよう努めます。		
会場・教室	秋田看護福祉大学 中教場		
会場住所	大館市清水2丁目3-4		
欠席連絡先	秋田看護福祉大学 教務課 (平日8:30～17:10) 電話：0186-45-1721 E-mail: conso@well.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：40名】 到着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「血圧とは？～血圧が高いとなぜ問題なのか～」 准教授 黒澤 繭子 <u>＜7月15日（土）12:00～13:30＞</u> 血圧に関係する身体の器官やしくみについて、高血圧の原因や影響について学びます。また、血圧測定の方法やポイントなどについても実際に血圧計を使用して体験してみましょう。</p> <p>第2講：「高齢者疑似体験から学ぼう！～老年期にある人の理解～」 助教 工藤 智美 <u>＜7月15日（土）13:45～15:15＞</u> 高齢化が進むなか、病院や地域における看護の対象は高齢者が多くを占めています。本授業での高齢者疑似体験を通して、老年期にある人の「老い」について一緒に学んでいきましょう。</p> <p>第3講：「高校生のための睡眠講座～健康と脳を育てる睡眠力～」 助教 千葉 孝子 <u>＜8月19日（土）12:00～13:30＞</u> 心身の成長期にある高校生にとって、睡眠の正しい知識を得ることは、これからの健康維持や様々な経験を通して学びを深めていく上でとても大切です。睡眠の基礎知識を知ること、日々の健康と勉学に役立てましょう。</p> <p>第4講：「いきいきとはたらき動くこと～活動の意義～」 講師 小畑 千春 <u>＜8月19日（土）13:45～15:15＞</u> 日常生活の中で、私たちの多くは当たり前のように動くことができます。病気や怪我による健康障害、あるいは年齢を重ねていく過程で起こる身体的、心理・スピリチュアル的变化から援助が必要となります。活動を支援していこうとすると、何が必要となるのか一緒に考えてみましょう。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田看護福祉大学
科目名 (サブタイトル)	[55] 医療と福祉の探究	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護福祉学部 医療福祉学科 准教授 石岡和志 (計4名)
授業概要	高齢者や障害者が住みなれた地域で普通に暮らすために、医療と福祉の連携・充実の重要性が増しています。本授業では、現代社会が抱える課題を医療や福祉の視点から考え、その実践を学ぶとともに、医療や福祉の魅力について考え知る機会とします。		
授業方針	医療や相談援助の現場での実践的な課題を提示し、授業参加者とともにその解決について考えていきます。積極的な参加を期待します。		
会場・教室	秋田看護福祉大学 中教場		
会場住所	大館市清水2丁目3-4		
欠席連絡先	秋田看護福祉大学 教務課 (平日8:30~17:10) 電話: 0186-45-1721 E-mail: conso@well.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：40名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「いのち・こころ」を考える ～東日本大震災の事例を踏まえて～ 准教授 阿部 俊彦 <u>＜7月15日（土）12:00～13:30＞</u> 近年、豪雨やそれに伴う洪水、地震などの災害が発生し、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。本講義は、東日本大震災に光を当て、災害によって生じる人々の「生命（いのち）と心（こころ）」のあり様を問い直し、人々の生活とは何か、支援とは何か、を皆さんとともに検討していきます。</p> <p>第2講：「地域に暮らす障害者の理解」 助教 高橋 俊文 <u>＜7月15日（土）13:45～15:15＞</u> 地域には、さまざまな障害をお持ちの方が暮らしています。一般的に”障害者”と一括りで呼ばれていますが、そのタイプ、特徴は個々で異なります。今回の講義では、障害をお持ちの方の基本的な理解を目的に学んでいきましょう。</p> <p>第3講：「コミュニケーション障害のある方への対応」 准教授 石岡 和志 <u>＜8月19日（土）12:00～13:30＞</u> 視覚障害、聴覚障害、知的障害等、コミュニケーションが取りにくい障害を抱える方は少なくありません。そのような方に対するさまざまなコミュニケーション方法を学びます。</p> <p>第4講：「医療的ケアとは ～福祉職が医療行為を行うために必要なことを考える～ 准教授 今野 修 <u>＜8月19日（土）13:45～15:15＞</u> 介護福祉士が医療行為を行えるようになった制度の変遷と、本学で行っている医療的ケア教育を解説します。また、介護福祉士が安全に医療的ケアを実施していく為の手順を確認し、実際にシミュレータを使って喀痰吸引等を体験してみます。さらに、他の医療職との連携方法についても解説します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字秋田看護大学
科目名 (サブタイトル)	[56] 高校生のための看護学入門 (「生きる」を支える人になる)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	看護学部 看護学科 講師 新沼 剛 (計1名)
授業概要	各専門領域の看護を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。		
授業方針	講義は上記の担当者が行います。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字秋田看護大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-829-2229 E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：120名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「高校生のための災害看護学「日本赤十字社による災害救護活動」」 <8月5日（土）13:20~14:50> 東日本大震災を事例に、日本赤十字社の災害救護活動を概観し、災害時における看護師の役割について理解を深めます。</p> <p>第2講：「高校生のための国際看護学「世界の人びとの暮らしと援助」」 <8月5日（土）15:00~16:30> 世界各国の人びとがどのような環境で生活しているのかを概観し、どのような援助が必要なのか考えていきます。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[57] 地域文化と秋田の工芸 (地域が育んだ工芸文化の紹介と、美大の工房をめぐり、ものづくりの魅力や素材・技法を紹介します)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 教授 熊谷 晃 (計3名)
授業概要	秋田県内の工芸文化や工芸品について、製品を紹介しながら解説し、伝統文化や地域産業について学びます。さらに、大学の工房（漆、染色、彫金等）をめぐり、道具や素材についての知識を深めます。		
授業方針	第1講では講義室では秋田の工芸品を紹介しながら講義をおこないます。第2講では美大の工房を見学しながら、素材と技法について学びます。		
会場・教室	秋田公立美術大学 講義室3、各工房		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課（平日8：30～17：15） 電話：018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：15名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「地域文化と秋田の工芸」教授 熊谷 晃、教授 安藤 康裕、准教授 森 香織 ＜6月24日（土）13:20～14:50＞ スライドと実物で、秋田の工芸文化を紹介しながら、ものづくりの歴史や文化的背景を解説します。			
第2講：「美大の工房巡り」教授 熊谷 晃、教授 安藤 康裕、准教授 森 香織 ＜6月24日（土）15:00～16:30＞ 美大の工芸系工房を中心に見学し、素材の特質や技法の特徴などを学びます。			
その他			
テキスト	プリント等を配付。		
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[58] デザインとコミュニケーション	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 教授 坂本 憲信 (計1名)
授業概要	世間に見られるさまざまな事物を取り上げて、それぞれを通じてコミュニケーションを成立させるために、デザインがどのような役割を果たしているのかについて紹介・考察していく。		
授業方針	事例の紹介を踏まえて、受講者自身も提示された例題について考察するプロセスを辿りながら、コミュニケーションを成すデザインのあり方について理解を深めていく。		
会場・教室	カレッジプラザ 大講義室		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：48名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「デザインとコミュニケーションを観察する」 <u><8月12日（土）13:20~14:50></u> 我々の身の回りにはデザインされた事物がさまざま存在する。それらの事物が人の生活において用いられ役立つために、デザインがどのような役割を担っているのかについて紹介する。</p> <p>第2講：「デザインとコミュニケーションを考察する」 <u><8月12日（土）15:00~16:30></u> 前講での学びを踏まえて、何らかの事物を取り上げ、コミュニケーションを成立させるためのデザインのあり方についてディスカッションしながら考察する。</p>			
その他	特になし		
テキスト	適宜配付する。		
参考文献	特になし		
関連科目	なし		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[59] 地域資源デザインワークショップ (地域資源の気持ちになって考えよう)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 准教授 菅原 香織 (計1名)
授業概要	地域資源を生かしたデザインを考えるワークショップ形式の授業です。秋田駅西口バスターミナルを参考事例としたケーススタディ、「地域資源クエスト」を用いたフィールドワーク、デザインワークを行います。		
授業方針	フィールドワークとデザインワークはチーム編成をして行います。能動的な態度を心がけてください。活動中は交通事故や体調不良・怪我に気をつけ、天候に応じた適切な服装で参加してください。		
会場・教室	美大サテライトセンター デッサンルーム		
会場住所	秋田市中通2丁目8-1 フォンテAKITA 6階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：12名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「地域資源を生かしたデザイン 地域資源クエストとは（講義）」 <u><8月19日（土）10:00～11:30></u> 地域資源を生かしたデザイン事例紹介「秋田駅西口バスターミナル」 「地域資源クエスト」の開発経緯と使い方・本日の進め方説明</p> <p>第2講：「地域資源フィールドワーク（現地調査）」 <u><8月19日（土）12:10～13:40></u> 【地域資源のみつめなおし（フィールドワーク）】 【地域資源のまなびなおし（ストーリー）】</p> <p>第3講：「フィールドワークのまとめと共有 ディスカッションとワークショップ（演習）」 <u><8月19日（土）13:50～15:20></u> 【地域資源のおもいおこし（ディスカッション）】 【地域資源のみなおし（ワークショップ）】</p> <p>第4講：「地域資源デザインワーク アイデア展開とふりかえり」 <u><8月19日（土）15:30～17:00></u> 【地域資源のつなぎなおし（アイデア）】 【地域資源のふりかえり（リフレクション）】</p>			
その他	昼食をご持参ください。（昼食時間11:30～12:10）		
テキスト	「地域資源クエスト」 授業の際にプリントを配付します。		
参考文献	生業景デザイン研究所 https://ru-cas.jp/		
関連科目	地域プロジェクト演習A／地域プロジェクト演習B		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[60] 歴史的な建築デザインを学ぶ (西洋の建築様式と秋田の近代建築を中心に)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 助教 石渡 雄士 (計1名)
授業概要	西洋の古典様式（ギリシャ・ローマ）やゴシック様式の建築デザインは、県内の近代建築にも多く取り入れられました。授業では各様式の特徴を理解し、実際に歴史的建造物を訪れて確認し、その空間の魅力を探ります。		
授業方針	第1講は座学形式で基礎知識を学びます。第2講は秋田市内にある近代建築を実際に巡り、知識だけでなく建築空間を実体験することで理解を深めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課（平日8：30～17：15） 電話：018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「建築様式のデザインを学ぶ」 <u><7月1日（土）13:20～14:50></u> パワーポイントのスライドを使って、図面や写真を見ながら西洋の歴史的建造物のデザインと日本の近代建築との関係を座学形式で学びます。</p> <p>第2講：「近代建築を実際に訪れて学ぶ」 <u><7月1日（土）15:00～16:30></u> 秋田市内に残る近代建築（旧秋田銀行本店本館など）を訪れ、実際に目で確かめながら建築デザインの理解を深めます。</p>			
その他	当日は歩道や建物内等を歩くため、軽装で来てください。		
テキスト	講義内容をまとめた資料を配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[61] 絵で話す、絵を見る、絵に聞く	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 准教授 村山 修二郎 (計1名)
授業概要	外に出て自然を受け止めながら表現する芸術的活動から、五感を刺激、感性を呼び起こすように絵を学びます。絵は堅苦しいものでも何でもなく、自由自在。絵を通して自身の秘めた可能性を発見しましょう。		
授業方針	野外に出て活動をするため、天候次第で臨機応変に授業を変容していきます。服装も動きやすく汚れても良いもので。今までの美術の絵を学ぶ授業とは異なる内容なので、楽しく活発に参加出来る人を望みます。		
会場・教室	秋田公立美術大学 講義室3、屋外		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「絵で話す、絵を見る、絵に聞く」 <u><7月1日（土）13:20~14:50></u> スライドで導入／室内 《のびのびとした表現》 《絵に関して》 外に出て、絵と人と自然物と対話（構内・グラウンド・芝生界限）／野外 《触れる、かおり、音、色→気付き、発見》</p> <p>第2講：「絵で話す、絵を見る、絵に聞く」 <u><7月1日（土）15:00~16:30></u> 創作活動（グラウンド・芝生界限）／野外 《描くこと、つくること、動くこと》 まとめ、振り返り／室内</p>			
その他	水筒（水分補給のため）、タオル、筆記用具、雨具 服装：動きやすく汚れてもよいものでお越してください。		
テキスト	必要に応じて配付。		
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[62] ダイナミックドローイング	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 助教 尾花 賢一 (計1名)
授業概要	線を使って絵を描くドローイングの表現を学ぶ授業です。体よりも大きなサイズのドローイングに挑戦します。		
授業方針	美術史におけるドローイングの変遷と実践例を学び、ドローイングの技術を使って作品制作に取り組みます。		
会場・教室	秋田公立美術大学 実習室		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「ドローイング理論」 <u><8月7日（月）13:00~14:30></u> 美術史におけるドローイングの変遷と実践例を学びます。</p> <p>第2講：「ダイナミックドローイング演習」 <u><8月7日（月）14:40~16:10></u> ドローイングの技術を使って作品制作に取り組みます。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田公立美術大学
科目名 (サブタイトル)	[63] 楽しいCGプログラミング (プログラミングによるアート表現を体験！)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	美術学部 美術学科 教授 野村 松信 (計1名)
授業概要	コンピュータ画面に図形を描くことは、方眼紙の上にイラストを描くことに似ています。本授業では、アーティスト向けに開発されたプログラム言語「Processing」を使って、アニメーションやインタラクティブな作品の制作に挑戦します。		
授業方針	プログラミングにより新しいアイデア、イラストやアニメーションを簡単に表現できることを体験し、プログラミングによる様々な表現や楽しさを知ってもらいます。		
会場・教室	秋田公立美術大学 コンピュータ室1		
会場住所	秋田市新屋大川町12-3		
欠席連絡先	秋田公立美術大学 学生課 (平日8:30~17:15) 電話: 018-888-8105 E-mail: kyomu@akibi.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 15名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「CGプログラミング入門」 <u><7月8日 (土) 13:20~14:50></u> Processingの基本操作を紹介し、次にプログラミングで簡単なイラスト等を描画することを体験します。 (1. プログラミングとは?、2. Processingとは?、3. Processingの基本操作とサンプル紹介、3. 基本的な図形描画等)</p> <p>第2講: 「CG作品制作&プレゼンテーション」 <u><7月8日 (土) 15:00~16:30></u> 前講を発展させた内容です。最後に、受講者の皆さんが作成した作品 (プログラム) を発表 (プレゼン) してもらいます。 (1. アニメーション表現、2. インタラクティブ表現、3. 作品制作、4. 作品の発表)</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田栄養短期大学
科目名 (サブタイトル)	[64] 食生活と健康 (ヨーグルトの乳酸菌と腸活、その食べ方)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	栄養学科 教授 池田 隆幸 (計2名)
授業概要	微生物の概要を理解すると共に、その微生物の一つ乳酸菌から作られる発酵乳、いわゆるヨーグルトの効用や腸内細菌、さらに現在話題の腸活について学びます。また、ヨーグルトを使った調理実習を行い、ヨーグルトの楽しみ方を学びます。		
授業方針	講義と調理実習を組み合わせる形式をとります。講義時間は90分、大学の講義と実習の二つを体験してください。なお、調理実習（第3、4講）の都合上、受講は上限を20人とさせていただきます。		
会場・教室	第1・2講：秋田栄養短期大学 短大351教場 第3・4講：秋田栄養短期大学 調理実習室		
会場住所	秋田市下北手桜守沢46-1		
欠席連絡先	秋田栄養短期大学（平日9：00～17：00） 電話：018-836-4337 E-mail：kyomu@nau.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「身近な微生物」 教授 池田 隆幸 <6月24日（土）9:30～11:00> 地球上に住んでいる動物や植物、微生物といった全ての生物は、土、水、大気、太陽光といった環境の中で、お互い関わり合いながら生きています。その中で、目には見えない微生物について、特に身近にどのような微生物がどのくらいいるかについてお話しします。			
第2講：「ヨーグルトの乳酸菌とその食べ方」 教授 池田 隆幸 <6月24日（土）11:10～12:40> いわゆる善玉菌と呼ばれる乳酸菌とその仲間について学び、乳酸菌から作られるヨーグルトはいつどのくらい食べた方が良いのか？また、乳酸菌が活躍する腸内環境が身体に及ぼす影響についてお話しします。			
第3講：「腸内環境を整える食習慣（講義・実習）」 助教 田中 景子 <6月24日（土）13:30～15:00> 第2講と関連して、腸内環境をよくする食品や食べ方について学びましょう。			
第4講：「腸活メニューを作りましょう（実習）」 助教 田中 景子 <6月24日（土）15:10～16:40> 今までの講義から、ヨーグルトなどの発酵食品を使ったレシピをみんなで作りましょう。 「第5回ご当地タニタごはんコンテスト」全国大会に出品した郷土料理アレンジレシピから1品再現とスイーツを実習します。			
その他	第3講、第4講の調理実習受講時には「エプロン、三角巾（バンダナでも可）」をご持参ください。 また、お昼を挟みますので、同日（6/24）は各自「お弁当」もご持参ください。		
テキスト	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配付します。		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	生物、家庭科、保健科		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[65] ようこそ保育の道へ	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科 教授 大曾 基宣 (計5名)
授業概要	保育士、幼稚園教諭を目指す生活こども専攻で開講している授業の中から「保育原理」「表現：身体・音楽」「幼児理解」「乳児保育」の中から授業を行います。		
授業方針	講義と演習を組み合わせ、高校生に分かりやすく授業を行います。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 CB02教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学(平日9:00~17:00) 電話: 018-845-4111 E-mail: tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：30名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「保育への道」 教授 大曾 基宣 <u><7月24日(月) 13:00~14:30></u> 「育つ」ってどういうこと？保育ってどういうもの？事例検討を通して「子どもの育ち」について考えるとともに、保育に関わる仕事についての学びを深めます。</p> <p>第2講：「子どもの世界」 講師 藤田 洋子 <u><7月24日(月) 14:45~16:15></u> 子どもは遊びが大好きです。「遊びたい」「もっと遊んでみたい」と心が弾む遊びを体験する中で、子どもの気持ちを理解します。</p> <p>第3講：「子どもを援助する」 教授 織田 栄子 <u><7月25日(火) 13:00~14:30></u> 絵を使って、子どもと仲良くなる方法を学びます。</p> <p>第4講：「乳児と遊び」 講師 石井 美和子 <u><7月25日(火) 14:45~16:15></u> 赤ちゃんにとって「遊び」はどんな意味があるのか。おもちゃを作って遊びを体験します。</p> <p>第5講：「ベルを使ってアンサンブルを楽しむ」 講師 佐藤 眞由子 <u><7月26日(水) 13:00~14:30></u> ミュージックベル、トーンチャイム、ハンドベルなど、それぞれのベルに合った曲目で、音色の違いや美しさを感じます。</p>			
その他	上履き、筆記用具を各自ご持参ください。		
テキスト			
参考文献			
関連科目	保育原理、表現：身体・音楽、幼児理解、乳児保育		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖霊女子短期大学
科目名 (サブタイトル)	[66] 食品と栄養の基礎知識 (栄養士、管理栄養士、栄養教諭の仕事を理解するために)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生活文化科 教授 高山 裕子 (計5名)
授業概要	栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、給食管理、栄養教育といった分野について、基礎的で簡単な実験や実習も取り入れながら解説。各講義で栄養士、管理栄養士、栄養教諭の業務と講義の関連についても説明。		
授業方針	授業の目的は高校生向けに食品と栄養に関する知識を伝え、自分の食生活や栄養に関わる仕事に興味を持ってもらうことです。		
会場・教室	聖霊女子短期大学 P201教室		
会場住所	秋田市寺内高野10-33 (秋田駅西口より秋田中央交通バス 土崎方面(新国道経由)「高野二区」下車(340円))		
欠席連絡先	聖霊女子短期大学(平日9:00~17:00) 電話:018-845-4111 E-mail:tandaijimu@akita-seirei.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数:20名】先着順で募集を締め切ります			
第1講:「健康と栄養」 准教授 浅野 純平 <6月17日(土)13:20~14:50> 身体と栄養素について学び、実際に体組成計(体重計に筋肉量の測定機能がついた計器)を用いて自己の身体を把握し、栄養状態について考えます。また、スポーツ栄養学の基礎を学習します。			
第2講:「味覚の不思議」 教授 熊谷 昌則 <6月24日(土)13:20~14:50> 食べ物を口の中に入れたときに感じる感覚のことを、「味覚」と言います。この授業では、味覚の不思議な世界にあなたをご招待します。			
第3講:「栄養指導とは」 講師 須磨 亜沙子 <7月15日(土)13:20~14:50> 栄養指導の場は、地域保健・産業保健・医療・学校教育・老人福祉施設等、様々あります。より健康でいられるための食行動を、対象者自らがとれるよう栄養指導することの定義や実技について学習します。			
第4講:「給食を提供するという事」 講師 伊藤 雅子 <7月22日(土)13:20~14:50> 給食を提供する対象者によって栄養士の仕事は多岐にわたっています。安全でおいしい食事を提供する方法について学びましょう。(集団調理の機器見学含む)			
第5講:「こどもの食と栄養」 教授 高山 裕子 <7月22日(土)15:00~16:30> こどもの健やかな成長・発達に欠かせない食と栄養について学びます。そして「幼児向けのおやつ」を作ってみます。(調理実習のためにエプロン・三角巾持参すること)			
その他	資料は講義前にプリントとして配付します。筆記用具をご持参ください。		
テキスト	講師が毎回、資料を配付します。		
参考文献	定めなし		
関連科目	化学、生物、家庭、保健体育		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	日本赤十字秋田短期大学
科目名 (サブタイトル)	[67] 高校生のための福祉講座 (職業としての社会福祉 (学びと実践のはなし))	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	介護福祉学科 教授 湊 直司 (計1名)
授業概要	職業としての社会福祉、実はかなり広い職域からなっています。支援の対象者も広ければ、その支援サービスも多様です。今回はその実際とそれを支える福祉の理念について学びましょう。		
授業方針	講義資料はプリントで配付します。実践事例を紹介しますので、その事例にどう向き合うか一緒に考えてみましょう。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室2		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	日本赤十字秋田短期大学 (平日9:00~17:00) 電話: 018-829-2229 E-mail: conso@std.rcakita.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 36名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「高校生のための福祉講座 (職業としての社会福祉: 学び編)」 <u><6月10日 (土) 11:10~12:40></u> 社会福祉の世界が積み重ねてきた理念や価値について学びます。 目の前で起きていることは同じでも、職業によってその捉え方、考え方、対応の仕方が違ってきます。 さて福祉の世界ではどうでしょう。</p> <p>第2講: 「高校生のための福祉講座 (職業としての社会福祉: 実践のはなし編)」 <u><6月17日 (土) 11:10~12:40></u> 主に障がい者支援領域におけるソーシャルワーカー歴三十数年の講師が、その仕事の体験を通じて、感じたこと、培ったこと、伝えたいこと等をお話しします。 将来社会福祉の仕事を視野に入れている人、その気はないけど社会勉強だという人等々、少しはお役に立てると思います。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	聖園学園短期大学
科目名 (サブタイトル)	[68] 楽しく学べる保育科入門	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	保育科 准教授 加藤 順子 (計3名)
授業概要	聖園学園短期大学保育科で開講している保育関連科目を複数の教員がオムニバス方式で紹介し、保育に対する興味・関心を高めるとともに、保育科短大での学習活動に対する理解を深めます。		
授業方針	講義科目や演習科目を組み合わせながら、簡単な理論と実際の動きを融合させた授業の展開を図ります。子どもや保育・幼児教育に興味・関心があれば、事前に難しい知識は必要としません。		
会場・教室	カレッジプラザ 講堂		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	聖園学園短期大学 教務課 (平日9:00~17:00) 電話: 018-862-0337 E-mail: kyomuka@misono-jc.ac.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：50名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「子どもの世界～遊びと学び～（心身の発達と学習過程）」 准教授 加藤 順子 ＜6月 7日（水）17:30～19:00＞ 子どもが遊びを通してどのようなことを経験し、学んでいるのか考えます。</p> <p>第2講：「音楽はリズム・メロディ・ハーモニー（音楽）」 講師 櫻庭 優佳 ＜6月14日（水）17:30～19:00＞ 手あそびや子どもの歌を通して、「音楽のしくみ」にアプローチします。</p> <p>第3講：「遊びと心理学～遊ぶ力と発達～（発達心理学）」 准教授 金澤 久美子 ＜6月21日（水）17:30～19:00＞ 重要な活動である「遊び」が発達とどう関係があるのかを解説します。</p>			
その他			
テキスト			
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[69] Pythonプログラミング	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	電子情報技術科 教授 浅野 英樹 (計1名)
授業概要	Pythonは、人工知能のプログラムを作成する場合に多く使われるが、科学技術計算用のモジュールも用意されている。この授業では、Pythonによる簡単なシミュレーションプログラムを作成することを目指す。		
授業方針	実際にプログラムを作成しながら、Pythonの基礎を学習する。Newtonの運動方程式や微分積分に関する知識が若干必要となる。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 4階 408実習室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】 先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「Pythonの基礎1」 <u><7月28日 (金) 9:30~11:00></u> 基本的なルール データ型 リスト、タプル、辞書</p> <p>第2講: 「Pythonの基礎2」 <u><7月28日 (金) 11:10~12:40></u> プログラムの基本構造 順次構造、分岐構造、反復構造</p> <p>第3講: 「Pythonの基礎3」 <u><7月28日 (金) 13:20~14:50></u> 外部ライブラリ Numpy、Matplotlib 科学技術計算ライブラリとグラフ描画ライブラリの利用</p> <p>第4講: 「Pythonで運動方程式を解いてみよう」 <u><7月28日 (金) 15:00~16:30></u> 自由落下運動の運動方程式(微分方程式)を数値計算により解いてみる</p>			
その他	筆記用具、昼食をご持参ください。		
テキスト	自作テキスト、板書		
参考文献			
関連科目	情報科学、物理学、数学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[70] 量子コンピュータ超入門 (量子コンピュータの量子ってなんだ?)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	電子情報技術科 教授 浅野 英樹 (計1名)
授業概要	量子コンピュータは、ミクロの世界の物理法則である量子力学に基づいている。この講義では、ミクロとマクロの世界の違いは何か、その違いがコンピュータの計算原理とどのように関係するのかを学習する。		
授業方針	自作テキストと板書による講義を行う。可能であれば「Pythonプログラミング」の受講を推奨する。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 4階 408実習室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「古典物理学の復習」 <u><8月8日（火）9:30~11:00></u> 19世紀までのNewton力学やMaxwell電磁気学によって形成された決定論的世界観を理解する。また、19世紀末から20世紀初頭にかけて現れた、それまでの自然法則では理解できない現象について学ぶ。</p> <p>第2講：「量子の登場」 <u><8月8日（火）11:10~12:40></u> ミクロの世界の探求がはじまり、量子という概念が生まれ、量子力学という法則が生まれる過程をたどる。</p> <p>第3講：「量子力学の世界」 <u><8月8日（火）13:20~14:50></u> 新たな法則である量子力学が誕生したあとの科学を概観する。</p> <p>第4講：「重ね合わせの原理と情報の表現」 <u><8月8日（火）15:00~16:30></u> これまでのコンピュータと量子コンピュータの違いは何かについて説明し、まだ完成されていない量子コンピュータの開発状況を理解し、もし完成されればどのようなものになるかを説明する。将来量子コンピュータに関わるには今後何を学ぶ必要があるかについても触れる。</p>			
その他	筆記用具、昼食をご持参ください。		
テキスト	自作テキスト、板書		
参考文献			
関連科目	情報科学、物理学、数学		

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>

シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[71] デジタル設計と3Dプリンタを用いた造形	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	生産技術科 講師 村上 佑太 (計1名)
授業概要	現在の設計の主流である3DCADでの部品設計と組立を行う。また、試作として3Dプリンタを用いて造形を行う。		
授業方針	自作テキスト等を用いた3DCADでの部品設計と組立、3Dプリンタを用いた造形。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 209教室		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00~17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数: 10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講: 「3DCADを用いた部品設計と組立、3Dプリンタを用いた造形」 <u><8月4日 (金) 9:30~11:00></u> 3DCADの操作方法から部品の製作、部品の組立。3Dプリンタを用いた造形。</p> <p>第2講: 「3Dプリンターの種類 (造形方式) について」 <u><8月4日 (金) 11:10~12:40></u> 3Dプリンタを用いた造形、各種造形方式・切削方式との比較</p>			
その他	筆記用具をご持参ください。		
テキスト	自作テキスト		
参考文献	なし		
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田職業能力開発短期大学校
科目名 (サブタイトル)	[72] 建物探訪 (～「まち」を見てみましょう～)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	住居環境科 教授 小笠原 吉張 (計1名)
授業概要	PCを使ってまちを探訪し、建築の手法や構造についてを学びます。また、実際の建物を題材にコンペやプロポーザルなどの新たな手法について学びます。		
授業方針	PCを使ってまちを探訪し、実際の建物を参考に構造や施工手法などを学びます。		
会場・教室	秋田職業能力開発短期大学校 221教室 (CAD室)		
会場住所	大館市扇田道下6-1 (秋北バス「市役所前」バス停より徒歩15分)		
欠席連絡先	秋田職業能力開発短期大学校 (平日9:00～17:00) 電話: 0186-42-5600 E-mail: akita-college03@jeed.go.jp		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：10名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「建物探訪」 <8月1日 (火) 13:20～14:50> PCを使用し、新旧様々な建物を紹介します。また、自分でも見てみたい建築物を探訪してみましょう。</p> <p>第2講：「まちなみ探訪」 <8月1日 (火) 15:00～16:30> 現在進行中の公共事業を中心に変わりゆくまちなみを紹介し、PCで探訪してみましょう。</p>			
その他	筆記用具をご持参ください。		
テキスト	自作テキスト		
参考文献			
関連科目			

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目<科目概要>
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	リアルタイム遠隔授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[73] 高校生のための量子の世界・ 量子情報科学の進展	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	理工学部 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 講師 久野 義人 (計1名)
授業概要	光は粒子？それとも波？ それは「量子」と呼ばれる不思議なものなのです。高校物理では習わない量子の世界をお話しします。また「量子って瞬間移動できる？」、「量子コンピュータ、何？」そんな疑問にお答えします。		
授業方針	量子重ね合わせや量子テレポーテーション、量子コンピュータについて平易な言葉でその内容を説明し、量子の世界の面白さ、量子情報科学の進展を講義する。		
会場・教室	リアルタイム遠隔授業のため、会場なし（ご自宅等で受講してください）。		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim.u.akita-u.ac.jp		
緊急連絡先	（当日緊急時のみ）科目担当者E-mail: kuno@phys.akita-u.ac.jp（久野先生）		
授 業 計 画			
<p>【募集定員人数：20名】先着順で募集を締め切ります</p> <p>第1講：「量子とは何だろうか？」 <7月15日（土）9:30～11:00> 高校物理で習う光の二重スリット実験などをスタートとして「量子とは何か？」を説明します。私たちの身の回りの構成要素(光、原子、電子など)は量子として振舞います。また、量子の不思議な性質である重ね合わせの原理を「箱に入った猫」などを題材にし説明します。</p> <p>第2講：「量子情報科学の進展：量子テレポーテーション、量子コンピュータ」 <7月15日（土）11:10～12:40> 量子が二つ三つと多くなるとさらに不思議な現象が現れます。例えば量子の状態が「どこでもドア」を通ったかのように瞬時に別の場所から別の場所に現れたりすることもあるかもしれません。また、多くの量子を用いて超高速で計算を行う量子コンピュータについて平易なことばで説明します。</p>			
その他	遠隔授業を受講できるインターネット環境（PC、スマートフォンなどの端末、ネット回線）が必要です。		
テキスト	特になし		
参考文献	授業の中で紹介します。		
関連科目	物理学、数学		